

令和 2 年 度
事 業 報 告

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

目 次

頁

はじめに	-----	1
会務報告		
1 会員数	-----	2
2 各種会議開催状況	-----	2
3 各種委員等就任状況	-----	5
4 会員の表彰	-----	10
5 会員の物故	-----	12
6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況	-----	12
会員の動向	-----	14
事業報告		
I 公益事業		
1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	-----	15
2 児童・生徒等に関する事業	-----	18
3 医薬品適正使用に関する事業	-----	20
4 医療安全に関する事業	-----	26
5 公衆衛生に関する事業	-----	28
6 地域医療に関する事業	-----	30
7 災害時医療救護活動に関する事業	-----	36
II 法人組織運営に関すること		
(1) 総会、理事会等開催など	-----	37
(2) 組織強化と財務の健全化	-----	38
(3) 会員管理	-----	38
III 共益事業		
(1) 薬剤師の生涯学習の推進	-----	39
(2) リスクマネジメント等事業	-----	45
(3) 広報事業	-----	47
(4) 会員に向けた各種支援	-----	49
IV 収益事業		
(1) 会議室等賃貸事業	-----	50
(2) 書籍等販売事業	-----	50
その他		
・神奈川県薬剤師研修協議会事業	-----	53
・地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	-----	53
参考資料		
令和2年度神奈川県薬剤師会事業計画	-----	54
令和2年度事業体系図	-----	55
令和2年度神奈川県薬剤師会各種委員会委員一覧	-----	57
神奈川県薬剤師会組織図	-----	58

はじめに

令和2年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者が確認され、また2月には横浜港沖に停泊中のダイヤモンドプリンセス号において集団感染が確認されて以降、新型コロナウイルス感染症の拡大があらゆる社会経済活動に影響を及ぼすとともに、県民の生活にも大きな不安を与えています。

このことは本会の運営にも多大な影響を及ぼしており、会務運営をはじめ様々な事業実施方法にも変更を余儀なくされているなど、その対応に苦慮しているところです。そうした中でも公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、様々な工夫を凝らしながら各種事業を推進してまいりました。新型コロナウイルス感染症の拡大による主な影響及び対応は次のとおりでした。

「かながわ薬剤師学術大会」や薬・薬連携のための神奈川県病院薬剤師会との合同研修会など多くの参加者により開催する研究会等については中止としました。その一方で、本会の事業の大きな柱である生涯学習認定制度に基づく研修事業等の実施にあたっては、Web方式（Zoom）の活用など非対面型の研修方法により、新型コロナウイルス感染リスクを抑制しながら事業を実施し、一定の成果を上げました。とりわけ、「かながわ薬剤師学術大会」の代替事業として、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修」と「新規医薬品情報研修会」を実施し、非対面型の方法で対応できるシステム（Zoom ウェビナー）を活用することにより、大勢の受講者に安心して参加いただき、大きな成果となりました。

一方、令和2年9月には改正医薬品医療機器等法が一部施行され、薬剤師には、他の医療職種と連携しつつその専門性を発揮し、県民に安全かつ有効な医薬品の供給を果たすことが求められていることから、くすり与健康相談薬局の認定拡大が益々重要となっています。本事業については概ね計画どおり事業を進め、令和2年度は新規40件、更新8件、合計48件認定し、これまでの6年間で認定薬局は257件となり、着実に成果を上げました。

こうした事業を企画検討し、推進する核となっている各種委員会活動については、新型コロナウイルス感染リスクを抑制するため、Web方式の併用による会議やメールなどによる通信手段を駆使し、概ね予定どおり開催し、事業の展開に支障が生じないよう努めました。

また、会務を運営するための意思決定等を行う総会、理事会等についても、書面表決やWeb方式の併用などにより開催し、本会を運営するための重要事項について決定するとともに、本会の円滑な運営に向けてその役割を果たしました。

こうした取組を通じ、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を克服しながら、各種事業を実施し、公益事業比率は63%を確保し、公益社団法人としての使命を果たしました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む薬局・薬剤師等に対して行政からの様々な支援が実施されましたが、本会としても、それらの支援が円滑に対象者に行き届くよう、情報提供や問い合わせ対応などの協力を行いました。

会 務 報 告

1. 会員数 (令和3年3月31日現在)

	第1種会員	2,380人	(対前年 39人減:うち資格喪失者1名)
会員総数 4,175人	第2種会員	1,489人	(対前年 106人減:うち資格喪失者2名)
(対前年 170人減)	第3種会員	49人	(対前年 7人減)
	賛助会員	246人	(対前年 19人減:うち資格喪失者1名)
	名誉・有功会員	11人	(対前年 1人増)

〈P.14 参照〉

2. 各種会議開催状況

(1) 総 会 3回

①通常総会【書面表決】

- ・開催日 令和2年6月11日
- ・書面表決者 74名(欠員1名)
- ・報告事項 報告第1号 令和元年度事業報告について
- ・審議事項 議案第1号 令和2年度事業計画について
議案第2号 令和2年度収支予算について
議案第3号 令和2年度借入金最高限度額について
議案第4号 令和元年度収支決算の承認について
議案第5号 令和2年度収支補正予算について
議案第6号 代議員及び役員選挙等に関する諸規程の改正について
代議員数74名に対し、書面表決者74名から提出があり、賛成多数により原案通り可決された。

②臨時総会

- ・開催日時 令和2年12月3日(日) 13:00~16:55
- ・開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者数 出席者 33名、委任状1名、書面表決37名、合計71名
- ・審議事項 議案第1号 役員選挙管理委員会委員の指名について
議案第2号 名誉会員の承認について
代議員数75名に対し、出席者33名、委任状1通、書面表決37通から、賛成多数により原案通り可決された。
- ・その他 代議員の任期について

③第2回臨時総会

- ・開催日時 令和3年3月14日(日) 13:00~14:39
- ・開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者数 出席者54名、委任状3名、書面表決13名、合計70名

- ・審議事項 議案第1号 令和3年度事業計画について
- 議案第2号 令和3年度収支予算について
- 議案第3号 令和3年度借入金最高限度額について
代議員数75名に対し、出席者54名、委任状3通、書面表決13通から、賛成多数により原案通り可決された。
- 議案第4号 神奈川県薬剤師会会長候補者の選任について
賛成多数により、小川 護 候補が会長候補者に選任された。

(2) 理事会（臨時含む） 7回（5/21、6/11、7/9、9/24、11/5、12/17、1/28）

(3) 常務理事会 22回（4/23、5/14、5/28、6/18、7/2、7/16、7/30、8/27、9/3、9/17、10/1、10/15、11/5、11/19、12/3、12/17、1/7、1/21、2/4、2/25、3/4、3/25）

(4) 監査会 2回（5/15、11/12）

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会 3回

開催	講演内容等
第1回 (7/30)	講演「令和2年度調剤報酬改定について」 神奈川県薬剤師会医療・介護保険委員会 委員長 藤本 直樹 氏 意見交換「新型コロナウイルス感染症対応の取り組みについて」 ①神奈川県における「新型コロナウイルス感染症対策について」 神奈川県健康医療局 生活衛生部 薬務課長 三浦 雅美 氏 ②本会の取り組みについて ・薬局における薬剤交付支援事業の実施について ・ダイヤモンドプリンセス号の対応から本日まで ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による薬局運営に関する緊急アンケートの結果について ③各地域薬剤師会での取り組みについて
第2回 (11/19)	講演 ①「新型コロナウイルス感染症対応薬局薬剤師慰労金支給事業等について」 神奈川県健康医療局 生活衛生部 薬務課副課長 岡本 亨 氏 ②「web研修に関する体制整備について」 公益社団法人神奈川県薬剤師会 理事 久保田 充明 氏 ③「日本薬剤師会から薬局・薬剤師をめぐる最近の課題について」 公益社団法人神奈川県薬剤師会 専務理事 長津 雅則 ④「特殊詐欺の現状と対策」 神奈川県警察本部 生活安全総務課 課長補佐 高木 康成 氏
第3回 (2/18)	講演 ①「薬局・薬剤師への支援 ～行政書士ができること～」 神奈川県行政書士会 村田 恵 氏・石井 亜由美 氏 ②慰労金及び協力金交付状況について 神奈川県健康医療局 生活衛生部 薬務課長 三浦 雅美 氏

(6) 委員会

①総務委員会	5回 (5/10、8/26、10/28、11/25、1/27)
②広報出版委員会	6回 (6/3、8/5、9/30、11/25、1/27、 3/31)
③生涯学習委員会	4回 (4/8書面表決、6/8、11/6、3/19)
・研修企画・運営小委員会	7回 (9/4、9/15、9/25、10/13、12/8、 1/9、3/9)
・認定薬剤師認定小委員会	3回 (6/26、10/22、1/27書面表決)
・外部評価小委員会	1回 (6/8書面表決)
④医療・介護保険委員会	3回 (9/3、11/12、3/11)
・在宅小委員会	1回 (10/12)
・調剤業務適正小委員会	0回
⑤公衆衛生・学薬委員会	4回 (6/24、9/2、12/9、3/10)
・小委員会	2回 (8/1、2/27)
⑥地域保健委員会	4回 (6/4、7/31、11/27、2/19)
⑦リスクマネジメント委員会	4回 (5/14、6/18、9/10、2/4)
・安全管理対策小委員会	2回 (4/28、9/1)
・調剤事故対策小委員会	2回 (4/23、7/29)
・リスクマネジメント小委員長会	2回 (4/8、11/10)
⑧倫理研修委員会	3回 (7/29、10/1、12/16)
⑨学術大会実行委員会	2回 (12/11 県薬単独、3/1 合同)
⑩実務実習委員会	4回 (6/4、9/17、12/10、2/4)
・アドバンスワークショップ検討会	4回 (6/10、1/22、2/1、3/10)
⑪代議員選挙管理委員会 (書類審査含む)	2回 (8/19、10/22)
⑫総会議事運営委員会	4回 (4/23、6/11、10/29、1/21)
⑬役員選挙管理委員会 (書類審査含む)	2回 (12/4、2/26)
⑭医薬品適正使用検討委員会	1回 (9/18書面表決)
⑮災害対策検討委員会	1回 (11/2)
⑯くすりと健康相談薬局運営協議会	3回 (8/6、10/1、1/21)
⑰くすりと健康すこやかフェア実行委員会	0回

(7) その他会議

- ①正副会長会 (臨時含む) 17回 (4/2、4/13、5/14、6/18、7/2、7/9、7/30、9/3、9/17、
10/1、11/5、11/19、12/17、1/7、2/4、3/4、3/25)
- ②春秋会 中止
- ③新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 1回 (1/7)
- ④倫理審査会 1回 (8/18)
- ⑤各種委員会委員長会議 2回 (7/16、11/26)

- ⑥県健康医療局との連絡会 1回（書面開催）
- ⑦県薬務課との連絡会
 日 時：令和2年11月6日（金）15：00～15：40
 会 場：神奈川県薬事総合保健センター
 出席者：12名（県薬務課5名、県薬執行役員他7名）
- ⑧神奈川県薬事総合保健センター入居団体会議
 日 時：令和2年10月6日（火）15：00～15：40
 会 場：神奈川県薬事総合保健センター
 出席者：10団体
- ⑨会長賞等選考審査会
 日 時：令和2年11月19日（木）16：30～17：00
 会 場：神奈川県薬事総合保健センター
 出席者：10名（執行役員10名）
- ⑩薬業団体新年賀詞交換会 中止

3. 各種委員等就任状況

《公的委員》

（令和3年3月31日現在）

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会	鵜飼会長	臨時委員	局長	関東信越厚生局
2	県医療審議会	鵜飼会長	委員	知事	医療課
3	県薬事審議会	鵜飼会長	副会長	知事	薬務課
4	県薬事審議会 薬物評価検討部会	鵜飼会長	会長	知事	薬務課
5	県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	知事	生活衛生課
6	県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤(啓)常務	委員	知事	国際課
7	かながわ地球環境保全推進会議	河野センター長	監事	知事	環境計画課
8	かながわ地球環境保全推進会議（県民部会）	石渡理事	推進委員	知事	環境計画課
9	県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	知事	医療課
10	県保健医療計画推進会議 糖尿病連携検討部会	唐澤常務	委員	知事	医療課
11	県医療安全推進協議会	橋本副会長	委員	知事	医療課

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
12	県医療安全対策事業実行委員会	橋本副会長	委員	知事	医療課
13	県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	知事	医療課
14	県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	知事	医療課
15	県外国人医療推進検討会議	伊藤(啓)常務	委員	知事	医療課
16	県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	知事	健康危機管理課
17	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 (医療救護体制部会)	後藤副会長	構成員	知事	健康危機管理課
18	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 (ロジスティック部会)	寺師常務	構成員	知事	健康危機管理課
19	県エイズ対策推進協議会	伊藤(一)理事	運営委員	知事	健康危機管理課
20	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	委員	会長	健康危機管理課
21	県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課
22	県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課
23	かながわ健康プラン21 推進会議及びがん克服 県民会議	小川副会長	委員	知事	健康増進課
24	医食農同源研究会 (漢方理解促進等検討部会委員も兼務)	坂本理事	委員	知事	健康増進課
25	県アレルギー疾患対策推進協議会	伊藤(一)理事	委員	知事	健康増進課
26	県慢性腎臓病 (CKD) 対策連絡協議会	河野センター長	委員	知事	がん・疾病 対策課
27	県慢性腎臓病 (CKD) 診療連携構築協議会	阿部理事	委員	知事	がん・疾病 対策課
28	県献血推進協議会	唐澤常務	委員	知事	薬務課
29	県薬物乱用対策推進本部 本部会	鶴飼会長	本部員	知事	薬務課
30	県薬物乱用対策推進本部 青少年・啓発部会	高橋理事	部会員	知事	薬務課
31	県後発医薬品使用促進協議会	後藤副会長	委員	知事	薬務課
32	県認知症対策推進協議会	佐藤常務	委員	知事	高齢福祉課

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
33	県在宅医療推進協議会及び県地域包括ケア会議	佐藤常務	委員	知事	医療課 高齢福祉課
34	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津専務	委員	知事	高齢福祉課
35	県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策推進協議会	鵜飼会長	委員	会長	保健体育課
36	県学校給食特別優良学校現地審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
37	学校給食表彰審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
38	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰） 係る選考委員会	鵜飼会長	委員	知事	保健体育課
39	ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・ パラリンピック競技大会神奈川推進会議	鵜飼会長	構成員	知事	オリンピック・ パラリンピック課
40	「マイME-BYO カテ」の災害活用に係る勉強会	後藤副会長	委員	知事	ヘルスケア・ニューフロンティア 推進本部室
41	県国民健康保険診療報酬審査委員会	藤本 直樹 泉理事 佐藤常務 阿部理事 福嶋 仁 飯田 純一 依田 啓司	審査委員	理事長	国保連合会
42	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 診療報酬請求書審査委員会	長津専務 竹内常務 花島 邦彦	審査委員	支部長	診療報酬 支払基金
43	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部幹事会	鵜飼会長	参与	支部長	診療報酬 支払基金

《民間団体役員・委員等》

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
44	(公社)日本薬剤師会 (R02. 6. 27迄)	鵜飼会長	理事	—	日本薬剤師会
45	(公社)日本薬剤師会 (R02. 6. 27～)	長津専務	常務理事	—	日本薬剤師会
46	(公社)日本薬剤師会 議事運営委員会	小川副会長	委員	会長	日本薬剤師会
47	(公社)日本薬剤師会 代議員選挙管理委員会 (R02. 6. 27迄)	伊藤(啓)常務	委員	会長	日本薬剤師会
48	(公社)日本薬剤師会 組織・会員委員会 (R02. 6. 27迄)	山形理事	委員	会長	日本薬剤師会

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
49	(公社)日本薬剤師会 法制委員会 (R02.9.8~)	関水 康成	委員	会長	日本薬剤師会
50	(公社)日本薬剤師会 医療保険委員会	小川副会長	委員長	会長	日本薬剤師会
51	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	笠原 英城	委員	会長	日本薬剤師会
52	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会 (R02.6.27迄) (R02.9.8~)	福島 紀子 堀川 壽代	委員	会長	日本薬剤師会
53	(公社)日本薬剤師会 地域医療・保健委員会 (R02.6.27迄)	長津専務	委員長	会長	日本薬剤師会
54	(公社)日本薬剤師会 編集委員会 (R02.9.8~)	尾鳥 勝也 田沼 和紀	委員	会長	日本薬剤師会
55	(公社)日本薬剤師会 医薬品情報評価検討会	菅野理事	委員	会長	日本薬剤師会
56	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	会長	日本薬剤師会
57	(公社)日本薬剤師会 生涯学習委員会	厚田幸一郎	委員	会長	日本薬剤師会
58	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山 周也	委員	会長	日本薬剤師会
59	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会	今井 澄江 竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
60	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
61	(公社)日本薬剤師会 健康サポート薬局研修委員会 (R02.6.27迄)	長津専務	委員	会長	日本薬剤師会
62	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	伊藤(啓)常務	幹事	会長	日本薬剤師会
63	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	黒澤 淑子	幹事	会長	日本薬剤師会
64	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 広報ワーキンググループ	神原 大輔	委員	会長	日本薬剤師会
65	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 学術ワーキンググループ	田口 真穂	委員	会長	日本薬剤師会
66	県立こども医療センター地域医療支援事業 運営委員会	寺師常務	委員	総長	県立こども医療 センター
67	県がん診療連携協議会 地域連携クリティカル パス部会	唐澤常務	委員	総長	県立がん センター

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
68	県立保健福祉大学を支援する会	井上理事	理事	会長	県立保健福祉大学
69	県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	稲葉理事	委員	会長	横浜市大付属病院
70	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	鶴飼会長	委員	会長	県青少年課
71	県公衆衛生協会	鶴飼会長	理事	会長	県健康増進課
72	スモークフリー推進かながわ基金 運営委員	石渡理事	委員	会長	県がん対策課
73	薬物クリーンかながわ推進会議	鶴飼会長	会長	会長	県薬務課
74	薬物クリーンかながわ推進会議 運営委員会	小川副会長	委員	会長	県薬務課
75	薬物クリーンかながわ推進会議 広報委員会	唐澤常務	委員	会長	県薬務課
76	県立学校保健会	伊藤(一)理事	理事	会長	県立学校保健会
77	県学校保健連合会	鶴飼会長 小川副会長 唐澤常務 山形理事	副会長 理事 評議員 評議員	—	県学校保健連合会
78	県学校保健連合会 学校薬剤師部会	鶴飼会長	部会長	会長	県学校保健連合会
79	県学校保健連合会 健康手帳改訂委員会	伊藤(一)理事	委員	会長	県学校保健連合会
80	県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	会長	県社会福祉協議会
81	禁煙、受動喫煙防止を推進する神奈川会議	井上理事	副会長	会長	県予防医学協会
82	県医師会災害救助対策委員会	寺師常務	委員	会長	県医師会
83	県糖尿病対策推進会議 幹事会	唐澤常務	幹事	会長	県医師会
84	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会	井上理事	委員	会長	県医師会
85	県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	山形理事	委員	会長	県歯科医師会
86	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤常務	委員	会長	県歯科医師会
87	県保険者協議会	小川副会長	委員	理事長	国保連合会

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
88	県保険者協議会 事業検討委員会	長津専務	委員	理事長	国保連合会
89	(公財)かながわ健康財団 評議員会	鵜飼会長	評議員	—	かながわ健康財団
90	(公財)かながわ健康財団 がん対策推進会議	伊藤(啓)常務	委員	理事長	かながわ健康財団
91	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会 (R02. 7. 31迄) (R02. 8. 1～)	高橋事務局長 中田事務局長	委員	理事長	かながわ健康財団
92	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師常務	委員	理事長	かながわ健康財団
93	(一財)北里環境科学センター 評議員会	竹内常務	評議員	—	北里環境科学センター
94	(一社)薬学教育評価機構 評価委員会 (R02. 4. 30迄) (R02. 5. 1～)	鵜飼会長 花島 邦彦 久保田理事	評価 実施員	理事長	薬学教育 評価機構
95	(一社)薬学教育協議会 関東地区調整機構 薬局小委員会	久保田理事	委員	委員長	薬学教育協議会 関東地区調整機構
96	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川副会長	社員	—	薬剤師認定制度 認証機構
97	在宅研修分科会 (認知症対応力向上研修のあり 方に関する調査研究事業)	佐藤常務	委員	代表理事	地域活性化共同 組合フロンティア
98	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	小川 亮子 寺師常務 嶋理事 小宮 賢一	副会長 幹事 幹事 監事	会長	県医師会

4. 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

①神奈川県薬剤師会

ア 会長賞 (個人) [12/3]

荒波 進 (横浜市港北区)

風張 治一 (相模原市)

常盤 孝司 (小田原市)

イ 会長賞 (団体) [12/3]

該当なし

ウ 有功賞 [12/3]

油谷 典子 (横浜市中区)

磯部 昌子 (横須賀市)

井上 節子 (川崎市多摩区)

今木 章雄 (大和市)

上野 政子 (川崎市麻生区)	田辺 滋允 (海老名市)
辻 晃 (茅ヶ崎市)	長畑 陽子 (横浜市港南区)
平田 富子 (綾瀬市)	廣井三和子 (座間市)
森本 百代 (三浦郡)	矢野 和子 (小田原市)
横井 法子 (厚木市)	吉田紗智子 (横浜市保土ヶ谷区)
吉原世右子 (横浜市保土ヶ谷区)	

計15名

②日本薬剤師会

ア 有功賞 [4/1]

雨宮 一恵 (横浜市緑区)	伊藤 勝美 (平塚市)
小倉 和子 (横浜市磯子区)	加藤 昭 (川崎市川崎区)
下枝 末男 (綾瀬市)	鈴木 一生 (横須賀市)
鈴木佳代子 (相模原市)	橘 美代子 (三浦郡)
谷 孝之 (横浜市磯子区)	徳間 和男 (厚木市)
橋本いく子 (藤沢市)	広瀬 秀治 (横浜市中区)
星野 英雄 (横浜市神奈川区)	間瀬 実 (川崎市川崎区)
森 節子 (横浜市磯子区)	山本紀和子 (藤沢市)

計16名

イ 功労賞 [10/10]

高橋 洋一 (横浜市中区)

ウ 学校薬剤師賞 [10月]

山形 光正 (横浜市中区)

(2) 叙勲・大臣表彰

①死亡叙位

ア 正六位 [1/18]

石井 理美 (小田原市)

②叙勲

ア 瑞宝双光章 [春]

尾崎 英俊 (横浜市保土ヶ谷区)

鈴木 時夫 (川崎市高津区)

イ 旭日双光章 [秋]

石井 理美 (小田原市)

③文部科学大臣表彰 [11月]

ア 学校保健及び学校安全功労

菅谷 紀子 (相模原市)

(3) 県知事表彰

①県民功労者表彰 [6/16]

小川 護 (相模原市)

(4) その他各種表彰

①神奈川県公衆衛生協会会長表彰〔12月〕

高橋 良二 (伊勢原市)

②日本公衆衛生協会会長表彰〔3月〕

花島 邦彦 (茅ヶ崎市)

③学校保健功労者等表彰〔10月〕

青木 茂昌 (海老名市)

大塚 孝明 (大和市)

田辺 豪 (大和市)

豊原まり子 (横浜市瀬谷区)

西山世津子 (川崎市麻生区)

山下 耕司 (相模原市)

計 6 名

5. 会員の物故 (報告分)

穴戸 朋世 (茅ヶ崎市) 江口 尚良 (川崎市川崎区) 建部 健 (川崎市中原区)

高橋 晶子 (川崎市多摩区) 石崎 東己 (相模原市) 市川 俊明 (横浜市西区)

横田 正作 (相模原市) 石井 理美 (小田原市) 石田 栄一 (横浜市中区)

竹田 侑子 (横浜市南区) 五十畑照美 (南足柄市) 中村 公 (相模原市)

高田 正宏 (川崎市川崎区) 山口雅代子 (足柄下郡) 菅原 三吉 (横浜市鶴見区)

6. 厚生労働省、日薬等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会 (第1回) 〈埼玉〉 【Web開催】	令和2年5月31日	小川、長津
日薬 関東ブロック協議会 (第2回) 〈群馬〉 【Web開催】	令和3年2月7日	鶴飼、後藤、小川、唐澤 竹内、寺師
日薬 関東・東京ブロック会議 〈山梨〉	令和2年11月15日	唐澤、伊藤 (啓)、佐藤
日薬 都道府県会長協議会 (第1回)	令和2年7月7日	後藤
日薬 都道府県会長協議会 (第2回)	令和2年10月9日	小川
日薬 都道府県会長協議会 (第3回) 【Web開催】	令和3年1月13日	橋本
日薬 第95回定時総会	令和2年6月27日	後藤、小川、長津、唐澤 【書面表決】橋本、竹内
日薬 第96回定時総会	令和2年12月8日	後藤、小川、橋本、 唐澤、竹内、寺師
日薬 第97回臨時総会	令和3年3月6日	小川 【書面表決】橋本、唐澤、 竹内、寺師 【委任状】後藤

会 議 名	開 催 日	出 席 者
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険 担当者連絡協議会【Web開催】	令和3年2月23日	長津、竹内、佐藤
薬剤師認定制度認証機構 定時社員総会【書面開催】	令和2年6月25日	小川
薬剤師認定制度認証機構 臨時社員総会【書面開催】	令和2年8月31日	小川
第25回認定薬剤師認証研修機関協議会 【Web開催】	令和3年1月30日	小川、竹内、阿部、 久保田、夏目、三澤
日薬 令和2年度薬局実務実習受入に関する 関東地区ブロック会議（新潟）【Web開催】	令和3年1月29日	久保田、木村
令和2年度日本薬剤師会学校薬剤師部会 東京・ 関東ブロック連絡会議	令和3年3月14日	和田

会員の動向

<業種別会員数>

(R03.3.31現在)

区分	薬局				店舗販売業				その他(行政、病院、無職他)					合計					
	I種	II種	賛助	計	I種	II種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
H29年度	2,481	1,206	267	3,954	38	16	14	68	2	512	61	32	607	2,521	1,734	61	313	10	4,639
H30年度	2,438	1,159	247	3,844	36	17	11	64	2	482	64	33	581	2,476	1,658	64	291	11	4,500
R1年度	2,385	1,108	220	3,713	33	14	7	54	1	473	56	38	568	2,419	1,595	56	265	10	4,345
R2年度	2,346	1,022	204	3,572	32	13	6	51	2	454	49	36	541	2,380	1,489	49	246	11	4,175

[会員種別]

- I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師
- II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師
- III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師
- 賛 助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
 本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
 神奈川県以外に在住する薬剤師

<入会者・退会者数>

区分	入会者						退会者						差引					
	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
H29年度	220	96	0	10		326	243	155	3	34	1	436	▲23	▲59	▲3	▲24	▲1	▲110
H30年度	231	113	0	12		356	272	180	7	36	0	495	▲41	▲67	▲7	▲24		▲139
R1年度	211	111	0	12		334	276	162	11	39	1	489	▲65	▲51	▲11	▲27	▲1	▲155
R2年度	279	87	0	8	2	376	318	187	16	24	1	546	▲67	▲100	▲16	▲16	1	▲170

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	R2.3月			R3.3月			H31.3月			R2.3月		
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率
薬 局	3,952	2,385	60.3%	3,888	2,427	62.4%	3,888	2,427	62.4%	3,888	2,427	62.4%
店舗販売業	1,486	38	2.6%	1,461	39	2.7%	1,461	39	2.7%	1,461	39	2.7%
卸売販売業	577	79	13.7%	581	82	14.1%	581	82	14.1%	581	82	14.1%
薬種商販売業	1		0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
配置販売業	195	0	0.0%	200	0	0.0%	200	0	0.0%	200	0	0.0%
計	6,211	2,502	40.3%	6,131	2,548	41.6%	6,131	2,548	41.6%	6,131	2,548	41.6%

※県内店舗数は、令和2年度神奈川県薬務課発行『薬務行政の概要(令和元年度末現在)』による。

●県内薬剤師数と会員数比較

業 種	H30.12月	R3.3月		R2.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬 局	15,004	3,371	22.5%	3,497	23.9%
病院・診療所	3,917	91	2.3%	98	2.9%
介護保険老人施設	80	5	6.3%		
大 学	147	23	15.6%	23	18.1%
医薬品販売業	2,576	128	5.0%	131	5.5%
行 政	392	38	9.7%	43	10.5%
その他業務	334	28	8.4%	30	7.5%
無 職	761	245	32.2%	258	34.7%
計	23,211	3,929	16.9%	4,080	18.5%

※県内薬剤師数は、H30.12/31現在の厚労省届出薬剤師数による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学術大会の開催

神奈川県病院薬剤師会と共同で、令和3年1月17日（日）に、パシフィコ横浜において19回目となる薬剤師学術大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

なお、本大会の代替事業として、次のとおり研修会を開催した。

① オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

本研修会は、「オンライン診療の適切な実施に関する指針（令和元年7月改訂）」において、緊急避妊に関する診療については初診からオンライン診療を行うことは許容され得ると示され、その処方箋を応需する薬剤師には受講が条件となる研修として開催した。

日 時：令和3年1月17日（日）13:00～16:40

会 場：オンライン開催

内 容：・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬の調剤について

講師 長津雅則氏（神奈川県薬剤師会専務理事）

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

講師 茂田博行氏（神奈川県産科婦人科医会理事）

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

講師 竹内尚子氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

受講者：401名（会員197名/一般204名）

② 新規医薬品情報研修会

新規に発売された医薬品について、従来薬との違いやフォローアップのポイントなどを学習し、服薬指導に反映させることにより医薬品の適正使用に繋げることを目的として、新規医薬品情報研修会を開催した。

日 時：令和3年1月17日（日）9:30～11:50

会 場：オンライン開催

内 容：・抗悪性腫瘍剤「ゼジューラカプセル」について

講師 縄田修一氏（昭和大学薬学部病院薬剤学講座）

・糖尿病治療薬「フィアスプ注とルムジェブ注」について

講師 平山大徹氏（H.E.Cサイエンスクリニック薬局）

・睡眠薬「デエビゴ錠」について

講師 椎崇氏（北里大学病院薬剤部）

受講者：78名（会員76名/一般2名）

(2) 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表

第53回日本薬剤師会学術大会が令和2年10月に開催されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本会各委員会の参加・発表は見送った。

(第53回日本薬剤師会学術大会)

テーマ：「その先へ ～あなたに寄り添う心とともに～」

会 期：令和2年10月10日(土)～11日(日)

会 場：札幌市民交流プラザ 他

主 催：日本薬剤師会／北海道薬剤師会

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成24年度より助成金を交付しているが、令和2年度の申請はなかった。

募集期間：令和2年5月1日(金)～7月31日(金)

研究テーマ：臨床薬学的研究、社会薬学的研究、医療経済・薬剤経済学的研究等

補助金交付額：総額100万円以内

広 報 : 本会ホームページ

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省告示)に基づき、薬剤師が活動する分野の研究で学会発表、論文投稿の対象となるものについて、6件の倫理審査を実施した。

(5) 薬学生育成に関する事業

① 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する、薬学教育協議会で承認されたワークショップを、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催の補助事業として実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。



② アドバンストワークショップ～薬学実務実習における連携の在り方～

神奈川県病院薬剤師会との共催で、認定実務実習指導薬剤師の資格を取得後、実務実習の指導にあたった認定実務実習指導薬剤師を対象に、薬学実務実習における連携の在り方の検討、指導方法や問題点の共有、解決を図ることを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

③ 「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き 2018年版」を用いた実習の進め方の説明会の開催

平成31年2月から開始された改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の新たな考え方への対応の一環として、日本薬剤師会編集「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き 2018年版」を用いた実習の進め方の説明会を開催した。

日 時：令和3年2月13日(土) 19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：21名（会員17名/一般4名）

④ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

認定を受けた日から5年以上を経過した者を対象に、認定実務実習指導薬剤師の認定資格更新のための講習会を開催した。

日 時：令和3年2月13日（土）17:30～18:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：17名（会員9名/県病薬会員5名/一般3名）

⑤ 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会の開催

薬局、病院及び大学の更なる連携強化を図るため、意思の疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として懇談会を開催した。

日 時：令和3年1月13日（水）18:30～19:45

会 場：Web会議

内 容：・改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習への取り組みについて（令和2年度実務実習実施後アンケート調査結果から）
・有事の対応について
・意見交換会

出席者：50名（大学23名/県病院薬剤師会5名/県薬剤師会22名）

⑥ 地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

各地域の実務実習担当者に本会事業並びに日本薬剤師会及び関東地区調整機構からの通知や事業について伝達し、地域の問題点や課題の共有等を行うために担当者会議を開催した。

ア 第1回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和2年9月17日（木）19:00～20:10

会 場：Web会議

内 容：・令和2年度 実務実習実施後アンケート（Ⅰ期・Ⅱ期）について
・意見交換

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和3年2月4日（木）19:00～20:20

会 場：Web会議

内 容：・神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会について
・令和2年度（2020年度）第2回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）について
・令和2年度薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議について
・令和3年度実務実習及び次年度に向けての意見交換

(6) 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

新しい薬局・薬剤師のあり方ワーキンググループを設置し、「新しい薬局・薬剤師のあり方に係る提言（仮）」をとりまとめ、中間報告を行った。

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

① 神奈川県立学校の環境衛生検査

県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のため、「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

ア 学校環境衛生検査（県立学校全 190 校（全日制、定時制、通信制、支援学校等））

イ 県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 20 校）

ウ 県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 27 校）

エ 神奈川県教育委員会との打ち合わせ会（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

神奈川県からの委託事業として、県内の小・中・高校（公・私立とも）の生徒並びに教職員、PTA等を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発教室を実施した。

期 間：令和2年4月～令和3年3月

区分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	9	1,994	13	3,369	14	4,403
一貫校	0	0	2	796	-	-
中学校	47	6,941	50	8,089	69	12,706
小学校	112	9,677	159	13,519	169	14,859
PTA等	2	136	1	34	1	70
計	170	18,748	225	25,807	253	32,038

(3) 医薬品適正使用教室の推進

① 啓発資材の購入

ア 購入品：薬物乱用防止 DVD

購入数：2種4枚

収載内容：・大麻警報発令中！～アイメッセージで断ろう～

・今、薬物問題を考えよう！～私たちの未来のために～

イ 購入品：薬物標本

購入数：3個

(4) 学校保健向上事業

① 公衆衛生研修会（学校環境衛生編）の開催

日 時：令和2年5月17日（日）

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② 公衆衛生研修会（環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和2年10月4日（日）14:00～15:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：学校給食の衛生管理について

講師 濱地優作氏（みねおか調剤薬局）

和田野歩氏（坂本調剤薬局）

受講者：32名（会員30名/一般2名）

③ 学校薬剤師地域担当者会議の開催

日 時：令和2年10月4日（日）12:00～13:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・学校環境衛生検査について

・薬物乱用防止啓発事業について

・意見交換

④ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が昭和46年度から実施している全国学校保健調査について、今年度も地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取りまとめを行った。

なお、本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として、毎年文部科学省へ報告を行っている。

期 間：令和2年5月～9月中旬

内 容：2019年度の換気に関する定期検査等

対 象：神奈川県内学校薬剤師

報告数：1,328件

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすり与健康すこやかフェアの開催

日 時：令和2年10月22日（木）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
説明ボードの作製、広報用クリアファイルの作製を実施した。

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」（10/17～10/23）において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等が作製のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を実施した。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

① 医薬品適正使用検討委員会の開催

県医師会、県歯科医師会、県病院協会及び県病院薬剤師会との協議を行う医薬品適正使用検討委員会は、調剤報酬改定に基づき、医療・介護保険委員会で見直しを行った「院外処方箋の正しい書きかた」等について書面表決で確認し、啓発を実施した。

② 医薬品販売制度に関する自主点検調査

県民のセルフメディケーションをサポートするにあたり、医薬品販売制度に関する法令の順守及び適切な販売体制の整備を普及するため、「医薬品販売制度対応に関する自主点検チェックリスト」の作成を検討したが、日本薬剤師会が同様のアンケート調査を実施したため、それに協力し活用することとした。

(4) セルフメディケーションの推進

① 県民向け啓発グッズの作製

県民に対するセルフメディケーションの普及啓発を目的として、くすり与健康相談薬局県下一斉相談週間などのイベントで配布するためのグッズを作製した。

ア 絆創膏（17,500個）《一部改訂》



〈外装〉



〈内装〉

イ ほう介シール（8,000枚）《増刷》

ウ リーフレット（30,000枚）《増刷》

エ 啓発ポスター（会員薬局に配付）

(ア) 9月作製（A2判2,600枚）



(イ) 2月作製（A2判2,600枚）



オ タウンニュース広告（11/5～7掲載、神奈川県全域 12.3cm×3段）



② 健康測定機器による健康相談の推進

ア 健康測定機器の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器4機種10台のリースを継続し、地域薬剤師会及び会員薬局に概ね7日間を目途として貸出しを実施した。

なお、本会が認定する「くすりと健康相談薬局」の推進のため、貸出し機器のうち4機種は優先的に予約受付期間を設けている。

《貸出区分別一覧》

区分	件数
会員薬局	12
地域薬剤師会	3
くすりと健康相談薬局	37
計	52

《貸出機器別一覧》

機器名 ①～④：リース、⑤⑥：保有	区分	一般及び 地域薬剤師会	くすりと 健康相談薬局	計
①脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器 3台		9	15	24
②血管年齢計 3台		8	16	24
③骨健康測定器 2台		5	20	25
④肺年齢計 2台		1	0	1
⑤血圧計 1台		1	1	2
⑥環境放射線モニター 2台		0	0	0
計		24	52	76

イ 健康測定機器の実例報告

貸出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会報誌『薬壺』にて紹介した。

(ア)2020年7・8月号掲載 シーガル調剤薬局（鎌倉市）

(イ)2020年11・12月号掲載 横浜菊名薬局（横浜市港北区）

(ウ)2021年3・4月号掲載 すずらん薬局センター北店（横浜市都筑区）

③ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

薬剤師のセルフメディケーションサポート力を向上させ、薬局薬剤師の職能のより幅広い充実を図ることを目的として研修会を企画した。

ア セルフメディケーション研修会 ～総論編～

「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会

日 時：令和2年4月19日（日）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ セルフメディケーション研修会～各論編～

「くすりと健康相談薬局」健康サポート向上研修会 薬局製剤編

日 時：令和3年2月14日（日）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

④ セルフメディケーション啓発研修会の開催（地域薬剤師会との共催）

セルフメディケーション研修会～各論編～

～OTCの理解促進に関する研修会～（共催：小田原薬剤師会）

日 時：令和2年9月27日（日）13:00～17:00

会 場：小田原市民会館

内 容：・来局相談者の容態把握に役立つ方法

講師 亀井大輔氏（昭和大学薬学部）

・臨床判断とOTCの適正な販売に関する演習（SGD）

進行 鈴木大介氏（シーガル調剤薬局）

受講者：32名（会員28名/一般4名）

⑤ 漢方の理解促進に関する研修会

薬局薬剤師の地域での健康情報拠点機能を充実させる一環として、漢方の理解促進に関する研修会を、県民及び薬剤師を対象にそれぞれ企画検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により県民向けは中止し、薬剤師向けはオンラインで開催した。

ア 漢方の理解促進に関する研修会 知って得するなるほど！『漢方』《県民向け》

日 時：令和2年11月29日（日）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～

日 時：令和2年12月6日（日）14：00～17：30

会 場：オンライン開催

内 容：薬局におけるセルフメディケーションと漢方（その活用方法）

講師 菅野宏一氏（第一薬局）

受講者：126名（会員95名/一般31名）

⑥ 医薬品登録販売者継続研修（県医薬品登録販売者協会との共催事業）

平成30年度から、本会会員の属する薬局等の登録販売者に必要な研修を受けられるよう環境整備を行うため、神奈川県医薬品登録販売者協会と業務委託協定書を取り交わし、本研修会を共同開催している。

本研修会は、医薬品医療機器等法に基づく法定義務研修であり、登録販売者を置く薬局開設者に課せられたもので、厚生労働省及び神奈川県の後援にて実施しており、厚生労働省の『登録販売者の資質の向上のための外部研修ガイドライン』に完全準拠したものである。（A講座90分/B講座45分）

今年度は、4回（6月10日、10月4日、11月12日、2月6日）実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりDVDによる通信研修を実施した。

（5）くすりと健康相談薬局の推進

平成29年度の認定薬局が更新時期となり、9月1日付けで更新8件、新規40件、合計48件の薬局を認定し、県内257薬局となった。また、横浜市保土ヶ谷区、海老名市に認定薬局ができ、空白地域がなくなった。

申請期間：令和2年5月7日～5月29日

申請薬局：50薬局

認定薬局：48薬局

認定期間：令和2年9月1日～令和5年8月31日

① 認定証交付式の開催

日 時：令和2年9月13日（日）12:00～12:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出 席：26薬局

② チラシ等啓発グッズの作製・配布

認定及び県下一斉相談週間の開催にあたり、次の啓発グッズを作製した。

- ア 県民向けチラシ薬局PR用 27,000枚 制度PR用：10,000枚
- イ のぼり（大・小） 各80セット《増備》
- ウ 絆創膏 17,500個（（4）①アに同じ）
- エ フラッグ 75セット《増備》
- オ ほう介シール 8,000枚（（4）①イに同じ）《増刷》
- カ クリアファイル 5,000枚《改訂》



〈表〉



〈裏〉

- キ ピンバッジ 1,000個



③ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行っている相談業務を改めて県民にアピールする「県下一斉相談週間」を実施し、各認定薬局がそれぞれの薬局でくすりと健康に関する全般について県民の相談相手となることをPRした。

日時：令和2年11月16日（月）～22日（日）

会場：各認定薬局

事前周知：令和2年11月5日（木）～7日（土）タウンニュース誌に広告掲載



また、県下一斉相談週間の効果分析を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

- ・ポスター（A2判）の作製：300枚



④ 認定薬局取材記事の会報誌への連載

会報誌『薬壺』にて認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

ア 第13回 光栄堂薬局（横浜市金沢区：2020年5・6月号）

イ 番外編 COVID-19対策に関する取り組み

（各認定薬局へのリモート取材：2020年9・10月号）

ウ 第15回 ヒロ薬局（横須賀市：2021年1・2月号）

（6）薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用、薬害の防止などを推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会及び製薬メーカー等から医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応や情報提供などの支援を実施した。

令和2年度（4月～3月）相談件数 960件（前年度 911件）

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川医療安全推進セミナーへの参画

神奈川医療安全推進セミナー

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

これまで、「高齢者と薬の関係」リーフレットの作製等、ポリファーマシー対策に取り組んできたが、今年度は、「飲んでいるお薬チェックシート」と「ポリファーマシーチェックシート」を作製し、会員薬局に配付した。また、その利用方法については薬壺に掲載した。(各 80,000 枚)



(表)



(裏)

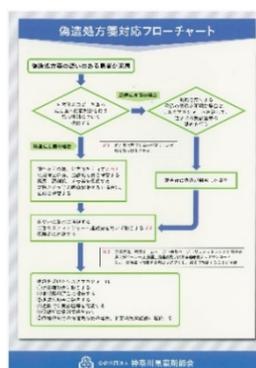
(3) 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進

① 多重受診に関する情報の周知

多重受診防止対策として、保険者から給付を制限された患者等の情報について、リスクマネージャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図った。また、処方箋を偽造して行使した患者情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

- ・ 多重受診 20 件
- ・ 処方箋偽造 5 件

② 偽造処方箋対応及び多重受診対応フローチャートの作製 (2,500 枚)



(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、日本薬剤師会との共催による研修会を4回開催した。

会 場：オンライン開催

内 容：日薬コンテンツを利用してオンライン(Zoom)で配信

日時・受講者：

第1回：令和2年10月29日(木)14:00～16:15

190名(会員152名/一般38名)

第2回：令和2年10月29日(木)18:00～20:15

170名(会員145名/一般25名)

第3回：令和3年2月28日(日)10:00～12:15

206名(会員158名/一般48名)

第4回：令和3年2月28日(日)14:00～16:15

199名(会員133名/一般66名)

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の縮減など安全な社会づくりのため、また、これまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬壺に次のとおり連載し、パネルを作製した。

・薬壺1・2月号 薬害の歴史について(第7回)MMRワクチン事件

MMRワクチン事件		1989-1993
1945	米Herbel, Endersら順次、不活化ムンプスワクチンの開発に成功	
1965	米Hillemannら世界最初の弱毒生ムンプスワクチン株(Jeryl-Lynn株)開発に成功	
1967	アメリカでJeryl-Lynn株ワクチンが承認される	
1972	日本でムンプスワクチン研究会発足	
1980	厚生省が羊膜培養法による、占部株ワクチン製造を承認	
1981	占部株を含む単独のムンプスワクチン任意接種開始	
	占部株ワクチンを含んだ統一株MMRワクチン臨床試験開始	
1985	厚生省が占部株ワクチン細胞培養法への変更を承認	
	厚生省が統一株MMRワクチンの製造を承認	
1988	厚生省が予防接種実施規則を一部改訂。風疹予防接種でMMRワクチン選択可能に	
1989	統一株MMRワクチンによる予防接種開始	
	前橋市医師会、無菌性髄膜炎発症を受け調査	
	厚生省、無菌性髄膜炎の発生率は10～20万人に1人、後に数千人に1人と認定	
	この頃から徐々にMMRワクチンの接種を中止/見合わせる自治体が出現	
1990	カナダで占部株を含むMMRワクチンの販売許可が取り消される	
1991	厚生省が無菌性髄膜炎の発生率は1200人に1人と添付文書改訂を指示	
1992	自社株MMRワクチン接種開始	
1993	厚生省MMRワクチン接種を当面見合わせ	
	厚生省が阪大微研に立入り検査 ワクチン原液の混合が判明	
	被害者3家族が阪大微研と国を相手取り、大阪地裁に提訴	
1994	予防接種法改訂 義務規定から勧奨規定、集団接種から個別接種へ	
2003	一審大阪地裁判決 2家族について阪大微研に損害賠償命令。残る1家族と示談成立	
2006	大阪高裁控訴審判決 国の指導監督義務違反を認める	
	1家族、MMRワクチンと死亡の因果関係認定を求め上告するも棄却。高裁判決確定	

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、神奈川県赤十字血液センターに協力し、街頭にてプラカードを使い、献血への協力を呼び掛けた。

日時：令和3年2月23日（火・祝）10:00～16:00

会場：JR桜木町駅前

協力者：52名（受付57名）

(2) 薬物乱用防止の啓発

① 街頭キャンペーン

令和2年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② 危険ドラッグ啓発グッズの作製

作製物：マスクケース

作製数：2,500個

配布：献血活動時に配布



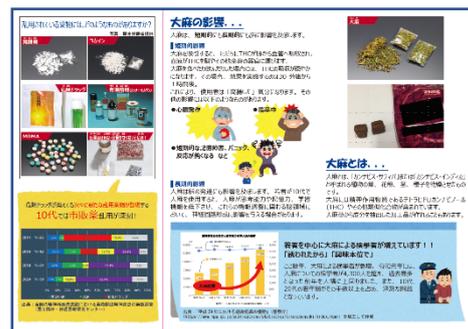
③ アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者等への最新情報の提供及び地域薬剤師会へ情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック 2020年版」購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

④ 薬物乱用防止啓発チラシ 作製数：2,000枚

令和3年度薬物乱用防止啓発教室にて活用予定。

新



⑤ 公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）

日時：令和2年5月31日（日）

新

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) 公衆衛生向上事業

① 栄養研修会

的確な栄養指導等、来局者への健康管理に貢献するため、栄養の考え方の基礎知識を習得し、職能の向上を図る栄養研修会を開催した。

日 時：令和3年1月31日（日）14:00～16:00

会 場：オンライン開催

内 容：高齢者の低栄養を予防する～サルコペニア、フレイル、回復期の栄養ケア～

講師 國見友恵氏（(医) 三喜会 鶴巻温泉病院）

受講者：85名（会員83名/一般2名）

② 公衆衛生研修会

患者の健康管理に貢献するため、薬剤師職能の向上を図る研修会として、また、更なる衛生意識の向上を促すため、県民も参加可能な研修会を開催した。（全3回）

日 時：令和2年 8月23日（日）14:00～16:25

令和2年11月29日（日）14:00～16:25

令和3年 2月 7日（日）14:00～16:25（オンライン開催）

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：薬剤師のための臨床推論クリニカルロジック1～3

講師 高橋良氏（昭和大学リウマチ膠原病内科）

受講者：193名（会員179名/一般14名）

(4) かながわ健康財団等事業への参画

① 薬物クリーンかながわ推進会議

ア 令和2年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 令和2年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

③ 健康チャレンジフェアかながわ2019

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれる背景を受けて、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

① 薬剤師向け支援事業

ア 在宅医療推進研修会の開催

第2回薬局薬剤師研修会

日時：令和2年12月20日（日）13:00～16:30

会場：オンライン開催

内容：・薬剤師が知っておきたいがん治療の知識～進行大腸がん治療を中心に～

講師 後藤歩氏（ごとう内科クリニック院長）

・(SGD) 抗がん剤レジメン情報（進行大腸がんに対するSOX+アバスタチン療法）から副作用等がん薬物治療中の在宅における注意点を考える

演習指導者 太田一郎氏（横浜市立大学医学部附属病院薬剤部）

受講者：41名（会員40名/一般1名）

② 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

ア 在宅医療支援薬局リストの作製

作成数：2,500冊

登録薬局数：797薬局（令和2年8月現在の申請薬局）

配布先：主に在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等

イ 保険薬局関連資料の開発・作製

リーフレットを80,000部作製

配布先：主に在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等

③ 認知症対応力向上研修会の開催

日時：令和2年9月13日（日）14:00～17:30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：薬局の窓口対応に生かす

・認知症施策推進大綱と意思決定支援ガイドライン

講師 鳥居貴子氏（南足柄市高齢介護課基幹型地域包括支援センター）

・認知症の発見と介入 ～薬局で薬剤師ができること、診断、治療、初期支援チーム、啓発活動の重要性～

講師 内門大丈氏（湘南いなほクリニック院長）

・認知症対応力向上のためのSGD

座長 佐藤克哉氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

受講者：61名（会員52名/一般9名）

④ お薬に関する出前講座への講師派遣

神奈川県からの受託事業として、自治会や老人クラブ等の団体が開催する県民向けの講習会へ薬局に従事する薬剤師を講師として派遣し、医薬品の作用や服用方法などにつ

いての講習会を行うとともに、リーフレット等を用いて、医薬品に関する正しい知識を普及させ、医薬品の適正使用を促進させた。

〈派遣先機関及び回数〉 相模原柴胡の会 1回 (11/8)

⑤ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会の推薦により派遣された医療・介護保険委員会委員が、専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

- ・(合同開催)神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会 1回 (9/2)
- ・(同) 介護の未来 1回 (10/27)
- ・(公財) 総合健康推進財団 1回 (11/10)
- ・(学) 西田学園 1回 (12/10)
- ・神奈川県社会福祉協議会 1回 (12/16)

(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

① 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ 2021

日 時：令和2年11月22日（日）

会 場：オンライン開催

内 容：・褥瘡は外用薬の特性を活かすことが重要!!～そのために必要な病態把握と薬剤選択～古田メソッド～

講師 古田勝経氏（愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長・
国立長寿医療研究センター特任研究員）

・症例検討

受講者：57名（会員56名/一般1名）

(3) 後発医薬品の使用促進

① 県民向け使用促進

厚生労働省及び神奈川県が作製した後発医薬品使用促進に係る県民向けリーフレットをホームページに掲載した。

(4) 医薬分業の質的向上

① 保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）

日 時：令和2年11月1日（日）11:30～13:00

会 場：オンライン開催

内 容：適切な調剤業務・保険請求を行うために

講師 亀山俊氏（望星薬局）

受講者：88名（会員65名/一般23名）

イ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日 時：令和2年11月1日（日）14:00～17:00

会 場：オンライン開催

内 容：・患者アセスメントを基にした薬剤服用歴管理指導簿の効率的な記載方法について

講師 梶谷浩義氏（グリーン薬局）

・服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成（SGD）

受講者：50名（会員45名/一般5名）

② 薬学管理料の効果調査

0410通知に関するアンケート調査を行う予定だったが、日薬の大規模な調査と重なってしまい、調査内容を再考し今年度は見送ることとした。来年度の研修事業（保険研修会）の研修前後にアンケートを行い、研修効果を見る形で行う。

③ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

昨年度末に開催を企画したものの新型コロナウイルス感染症の影響により延期していたが、令和3年1月17日（日）にオンラインで開催した。（再掲）

④ 保険薬局ハンドブックの作製

令和2年度の調剤報酬の改定に伴い、保険薬局ハンドブックの見直しを行った。2,800部作成し、会員薬局宛て配付するとともに希望者には有償販売を行った。（販売数70部）

⑤ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に開催した。

日 時：令和3年10月15日（木）18:30～20:00

⑥ 社会保険指導担当者会議の開催

地域薬剤師会の社会保険担当者を対象に伝達講習を開催した。

日 時：令和3年2月20日（土）18:00～19:40

会 場：オンライン開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 藤本直樹氏（医療・介護保険委員会委員長）

・調剤審査における指摘事項について

講師 福嶋仁氏（医療・介護保険委員会副委員長）

・法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」

講師 大岡元氏（医療・介護保険委員会調剤業務適正小委員長）

受講者：57名



新

⑦ 診療報酬の適正な保険事務の推進（隔年実施）

会員からの診療報酬改定に関する疑問を解消し、併せて『保険薬局ハンドブック』『院外処方箋の正しい書きかた』の編集に活かすことを目的に、ホームページで質問を受け付け、医療・介護保険委員会が中心となり、回答した。

実施期間：令和2年4月1日（水）～4月17日（金）

問合せ件数：15件（うち、10件が届出に関する内容）

⑧ 薬剤交付支援事業

新

厚生労働省通知「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」等に基づき、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大防止や患者・医療従事者の感染リスクを避けることを目的に、電話や情報通信機器による服薬指導を実施した後に患者宅等に薬剤を配送する場合の配送料の支援を実施した。

実施期間：令和2年4月30日（木）～令和3年2月28日（日）

交付薬局数：707 薬局

交付金額：8,150,413 円

（5）外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民や来県外国人が安心・安全に医薬品を適正使用するための支援を本会ホームページに継続して掲載した。

- ① 「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」
- ② 「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」

（6）地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を交付した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、複数の薬剤師会が事業内容の変更等を行った。

また、先導的事业については、1地域薬剤師会より申請はあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、令和3年度に事業を再申請することとなったため、先導的事业委託金の交付はなかった。

・公益目的事業補助金：18 地域薬剤師会 交付額 19,389,000 円

・先導的事业委託金：該当なし

（7）健康サポート薬局関連事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示（平成28年2月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会との連携のもと、研修事業を今年度も実施した。

・神奈川県内健康サポート薬局登録数：130 薬局（R 2 / 9 / 30 現在）

① 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）の開催

日 時：令和2年7月12日（日）13:00～18:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～
・薬局利用者の状態把握と対応（演習）「頭痛」ほか

受講者：28名

② 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）の開催

日 時：令和2年12月13日（日）13:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・健康サポート薬局の基本理念《DVD》
- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源 他

受講者：69名

(8) その他

① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る行政の取組に対する支援・協力

神奈川県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と収束が反復する中で、感染拡大を防止し、地域で求められる医療を提供するために様々な取組が進められている。

そうした中で、本会としては、県の取組に積極的に協力するとともに、感染拡大防止に取り組む薬局に対する支援を後押しするため、県が行う補助や協力金・慰労金の支給などに関して、薬局並びに薬剤師等に必要な情報の提供や問い合わせへの対応などに努めた。その主な取組は次のとおり。

ア 年末年始の医療提供体制確保への協力

新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大が懸念される中、年末年始（令和2年12月29日から令和3年1月3日）の医療提供体制の確保を図るため、神奈川県から神奈川県薬剤師会に対し、年末年始期間中に開局し、発熱外来受診者及び新型コロナウイルス感染症の自宅又は宿泊療養者等へ必要な薬を提供する薬局の選定及び協力要請があった。

この要請を受け、本会は、地域薬剤師会の協力のもとで、316薬局の協力薬局を選定し、年末年始の発熱外来受診者等に対応した。

イ 医療従事者に対する新型コロナウイルスワクチン優先接種への協力

薬局従事者に対するワクチンの優先接種の実施に向けて、神奈川県から、接種予定者の人数把握及び接種予定者リストの作成などに関して、薬局従事者への情報提供の協力要請があり、本会のホームページやメールマガジンにより随時必要な情報を提供した。

ウ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策事業に係る補助金交付の支援

(ア) 薬局感染拡大防止対策事業費補助金の交付に係る支援

神奈川県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と収束が反復する中で、地域で求められる医療を提供するため、薬局内での感染拡大を防ぐための取組を行う保険薬局に対して感染防止対策に要する費用を最大 70 万円補助することし、本会としてホームページやメールマガジン等により補助制度や必要な手続き等の情報を周知し、薬局の感染防止対策の推進を支援した。

なお、神奈川県から支給された補助金の状況は次のとおり。

- ・支給薬局：3,692 薬局
- ・支給金額：24 億 5,360 万円（※実績報告の結果、返還が生じる場合がある。）

(イ) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金の交付に係る支援

厚生労働省は、感染拡大を防ぐための取組を行う保険薬局に対して、新型コロナウイルス感染症に対応した感染拡大防止対策や診療体制確保等に要する経費を最大 20 万円補助することとし、本会としてホームページやメールマガジン等により補助制度や必要な手続き等の情報を周知し、薬局の感染防止対策等の推進を支援した。

エ 薬局薬剤師等従事者慰労金の支給に係る支援

神奈川県では、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを抱えながらも、業務を継続し、地域医療の維持に関して重要な役割を担っている保険薬局の従事者に対し慰労金 3 万円を支給することとなり、請求手続き等に関する情報を本会ホームページやメールマガジンを通じて提供するとともに、問合せへの対応を行い、当該慰労金の円滑な支給に寄与した。

なお、神奈川県から支給された慰労金の状況は次のとおり。

- ・支給人数：薬剤師 13,334 人 薬剤師以外 9,933 人 合計 23,267 人
- ・支給金額：6 億 9,801 万円（※実績報告の結果、返還が生じる場合がある。）

② 新型コロナウイルス感染症対応のためのマスク等支給

令和 2 年 3 月末から 6 月中旬にかけて、国及び神奈川県より支給された新型コロナウイルス感染症対応のためのマスク等を県内の薬局に行き渡るよう、地域薬剤師会宛てに配付した。（※1～5回は会員数割合により、6回は各地域での必要数を確認し配付）

- ・第 1 回配付分（3 月末～4 月初旬）マスク 12,210 枚
- ・第 2 回配付分（4 月中旬）マスク 42,000 枚
- ・第 3 回配付分（5 月中旬）マスク 76,000 枚
- ・第 4 回配付分（5 月下旬）マスク 60,000 枚、フェイスシールド、ガウン各 6,000 枚、グローブ 30,000 枚
- ・第 5 回配付分（5 月下旬）高濃度エタノール 50 缶（1 斗/缶）
- ・第 6 回配付分（6 月中旬）フェイスシールド、ガウン各 6,000 枚

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会の担当者が所持する災害時優先携帯電話について、令和2年12月21日～12月25日にかけて発信を中心とした通信訓練を実施し、発信率は97.4%であった。

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における災害対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、会館内の必要な資機材・生活必需品等を会館内に適正配置について、定期的な確認を行った。

また、会館業務の一環である災害対策用備蓄について、消費期限の経過した備蓄品の入替えと、電力確保のための簡易発電機（カセットガスボンベ使用）及び簡易ソーラー発電機の整備を実施した。

<災害用備蓄品整備一覧表>

NO	種別	内容等()内は数量
1	食料品	レトルト白米(70)、五目御飯類(650)、 ビスケット(180)、缶詰め類(120)
2	厨具用品類	カセットガスコンロ(2)、カセットガスボンベ(750) 鍋(2)、柄杓(2)、やかん(2)、スチロール食器(200)
3	寝具類	毛布(110)、折り畳み式ベッド(23)、寝袋(20)、
4	防寒用品類	保温アルミシート(100)、使い捨てカイロ(300)
5	電灯・ラジオ等	ソーラー懐中電灯(49)、手回し充電ラジオカセット・ランタン(27) 乾電池式懐中電灯(2)
6	医療用品類	救急キット(43)、サージカルマスク(6,000)、 ディスポーザブル手袋(9,500)、生理用品(448)、紙パンツ(103)、
7	機材・工具等	簡易カセットガス発電機(3)、揚水用手動ポンプ(1)、工具セット(1) 吸水性土嚢(50)、ソーラー発電機一式(1)
8	飲料水	ミネラルウォーター(500ml)600本
9	生活用品類	生理用品(448)、紙パンツ(103)、非常用トイレ(500)、 トイレトペーパー(60)

(3) マニュアルの改訂

大規模災害発生時における災害対策本部の立ち上げまでに関する初期行動をわかりやすく記したアクションカードの作成作業を行った。

Ⅱ 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

① 総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、総会、監査会、各種委員会委員長会議など諸会議を開催した。

② 春秋会は開催中止となり、墓参のみを実施。

③ 総務委員会（5/10 [ML 開催]、8/26、10/28、11/25、1/27）

5月はメーリングリストで実施し、令和2年度事業報告及び収支決算の内容について意見交換を行った。また、平成23年度～27年度の会費未納者の会員資格喪失により、未収会費及び未収特別会費が雑損処理された分についても詳細の確認を行った。

8月の委員会では、代議員及び役員選挙等に関する諸規程の改正内容の確認と、令和3年度事業計画・予算編成への取組に向けて、重点的に展開すべき事業等の提案について検討を行った。

10月の委員会では、令和2年度の事業進捗状況について取りまとめを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことにより事業の中止や変更申請が多く、今後の公益事業の執行にも影響が出てくることを確認した。その上で、令和2年度後半の事業、令和3年度の事業において、今後コロナ禍が激しさを増してきた場合に、県民に保健衛生などの分野で貢献すべきことや会員への補助等について、薬剤師会としてできることがないか検討を行った。

11月の委員会では、令和2年度中間報告の確認及び令和3年度事業計画・収支予算原案について調整を行った。事業体系図については幅広の事業展開が可能となるよう柱立ての表記を見直ししたことを確認し、収支予算については、会員減少、新型コロナウイルス感染症の影響により各会費収入が下降傾向にあることから、会費収入の推移を確認した上で、収入予算の見直しも検討した。また、オンラインによる研修会が定着しつつあり参加者も多いことから、これを事業収入に繋げる考え方も必要ではないかとの意見も多数あった。

1月の委員会では、令和3年度事業計画の最終案について文言整理を行った。また、令和3・4年度の委員会再編案に合わせ、収支予算案の整合がとれているかも併せて確認を行った。

④ 総会議事運営委員会（4/23、6/11、10/29、1/21）

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を踏まえ、通常総会（6/11）の運営方法について協議し、通常総会は書面決議とすることとした。また、臨時総会（12/3）、第2回臨時総会（3/14）の運営方法についても協議を行った。

⑤ 日薬委員との意見交換会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑥ 神奈川県三師会役員連絡協議会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑦ 神奈川県薬剤師会会長賞及び有功賞の受賞者表彰式・日本薬剤師会有功賞伝達表彰

式・各賞受賞者祝賀会

令和3年1月17日（日）に祝賀会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

（2）組織強化と財務の健全化

① 公益法人制度への対応

公益社団法人としての定期提出書類「令和元年度事業報告等」・「令和2年度補正予算」
「令和3年度事業計画等」を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。

② 公益社団法人変更認定申請に関する書類の申請を行い、認定された。

③ 日本薬剤師会会費の徴収を行うための事業連携協力に関する覚書を締結した。

④ 入会を促進し、会員の増大を図るため、各地域薬剤師会及び区薬剤師会の会員情報の提供を地域・職域薬剤師会に依頼を行った。

⑤ 令和3年度公益法人運営特別会費及び保険薬局分担金ランクの申告調査を実施した。

・会員薬局 2,360 件、非会員薬局 413 件（依頼 1,543 件）

⑥ 保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局 276 店舗分（109 件）に謝礼として薬壺 1 年分を送付するとともに、入会勧誘を行った。

⑦ 薬事関係資料等整備



過去の薬壺等を PDF 化し、DVD を作製した。

・薬壺…昭和 27 年～平成 2 年

・県薬会報…昭和 53 年 5 月～平成 3 年 2 月

・会報…大正 15 年～皇紀 2603 年（昭和 18 年）

・会員名簿…昭和 2 年～昭和 63 年

（3）会員管理

① 県薬会費・公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書を送付した。

・口座振替 1 回（9 月）

・コンビニ収納等による会費等の請求 3 回（11 月・1 月・3 月）

② 入会申請に係る入会審査を 51 回実施し、345 名を承認した。（前年度：330 名）

③ 会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。

④ 日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。

⑤ 会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページに、本人の承諾が得られた場合に新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。

⑥ 薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用払出金・安全対策等払出金の申告及び納入業務を行った。196 件（令和 2 年 6 月～10 月）

⑦ 会員管理システムの検索機能や入金データ取込機能の追加等を行った。

⑧ 会費未納者及び行方不明者について、規定に沿って会員資格喪失の処理を行った。

Ⅲ 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

① 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会では、平成 23 年度から独自の生涯学習認定制度を運営していたが、社会情勢の変化等に伴い、その内容等が時代の求めに沿うものであると判断されたことから、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得した。

その後、事業内容、運営方法及び研修プログラムの質などについて充実を図り、令和 2 年 3 月に 1 回目の更新認証を取得した。

ア 認証の情報

認証番号 G21

初回認証期日 平成 29 年 3 月 10 日

更新期日 令和 2 年 3 月 6 日（1 回目）

有効期限 令和 8 年 3 月 9 日

イ 認定者の状況

R02 認定者数 新規 4 名／更新 0 名

通算認定者数 41 名

ウ 研修事業調整会議の検討

日時：令和 2 年 11 月 11 日（水）19:30～20:30

エ 認定単位取得期間の特例措置

新型コロナウイルス感染症により研修会の延期・中止が相次いだことから、令和 2 年 3 月 1 日を基準として認定単位取得期間を 1 年間延長することとした。

オ 生涯学習認定制度規程細則の一部改正

近年、研修会の内容等が多様化している状況において、規程細則別表第 1 に規定されている「研修の種別」及び別表第 2 に規定されている「単位基準」について判断が難しい事例が生じていること、また、最近の委員会構成やオンライン開催の普及等により現行の規定に合わない部分が生じていることから、ワーキンググループを設置して検討を行い、規程細則の一部改正について令和 3 年 4 月 1 日から施行することとした。

② 生涯学習認定制度の普及促進

ア 各研修会で認定制度の周知等を実施した。

(ア) 研修会場で生涯学習認定制度の説明を行った。

(イ) 研修申請手順書の配付を行った。

イ 本会会誌「薬壺」に情報を掲載した。

ウ 本会ホームページに情報を掲載した。

エ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営するサイト「認定薬剤師.com」に情報を掲載した。

オ 新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修会の開催が困難となった中で、「新型コロナウイルス感染症に配慮した研修会等の開催指針」を策定し、集合研修会にお



ける安全面で配慮すべき点等やオンライン研修会における認定要件等を定めた。

また、Web研修に関する体制整備のためのワーキンググループを設置して運営マニュアル等を作成するとともに、受講者の利便性向上のために、受講マニュアルを作成し、本会ホームページに公開した。

③ 学習環境の整備

日本薬剤師会が作成した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき各種研修などを企画、開催した。

ア 認定研修会の開催〈別表1「研修事業一覧」参照〉

	件数	内訳			
企画数	37	延期	0	中止	11
開催数	26	A認定型※ ¹	16	B依頼型※ ²	6
		集合研修	10	集合研修	0
		オンライン研修	6	オンライン研修	6
		C提案型※ ³	4	集合研修	1
				オンライン研修	3
受講者数	1523				
		会員	1363	一般	160

※1「A認定型」本会各委員会が企画・運営する研修

※2「B依頼型」本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3「C提案型」地域薬剤師会などが提案する共催研修

イ 研修会共通アンケートの実施

研修事業の現状と課題を統一した指標で評価し、事業内容の更なる充実を図るため、研修会の開催当日に受講者にアンケートを配付し回収していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により終了時の密集状態を避けるため、本会ホームページに研修会ごとの回答フォームを設け、研修会終了時から開催翌々日の15時までにアクセスして回答する方法に変更した。

ウ 共催研修事業（C提案型）の視察

(ア) 9/27 セルフメディケーション研修会～各論編～（小田原）

(イ) 10/16 第8回 TYP-Net《鶴見若手薬剤師勉強会》（鶴見）

(ウ) 1/29 第9回 TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉（鶴見）

(エ) 2/20 第4回吸入療法ステップアップセミナー（吸入療法のステップアップをめざす会）

④ 関係機関との連携

ア 薬剤師認定制度認証機構（CPC）

(ア) 定時社員総会

日 時：令和2年6月25日（木）

会 場：書面審議

出席者：小川副会長

(イ) 臨時社員総会

日 時：令和2年8月31日（月）

会 場：書面審議

出席者：小川副会長

イ 認定薬剤師認証研修機関協議会（CAPEP）

令和2年6月開催の協議会は本会が幹事であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

これにより、令和3年1月30日開催の協議会を第25回として次々回幹事の近畿国立病院薬剤師会（G22）が開催し、令和3年6月の協議会を第26回として本会が幹事となり開催することとなった。

(ア)（第25回）認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和2年6月26日（金）※開催中止

(イ) 第25回 認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和3年1月30日（土）14:00～17:00

会 場：Web 会議

幹 事：近畿国立病院薬剤師会（G22）

⑤ 学習活動への支援

ア 本会企画研修会

(ア) 倫理研修会－薬剤師倫理－

日 時：令和2年11月15日（日）13:30～16:40

会 場：伊勢原シティプラザ

内 容：・新入局薬剤師と経験豊かな薬剤師とのギャップ

～倫理観を共有するには～

講師 鈴木順子氏（北里大学名誉教授）

・ケーススタディー（SGD）

受講者：36名（会員36名/一般0名）

(イ) 研究倫理研修会

日 時：令和3年2月3日（水）18:25～20:00

会 場：オンライン開催

内 容：薬剤師の研究と倫理審査

講師 上村直樹氏（東京理科大学薬学部 教授）

受講者：37名（会員36名/一般1名）

イ 共催研修会（依頼型）

(ア) 第1回倫理研修会－薬剤師倫理－

共 催：川崎市薬剤師会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(イ) 第2回倫理研修会－薬剤師倫理－

共 催：横浜市薬剤師会

日 時：令和2年8月30日（日）10:00～13:10

会 場：オンライン開催

内 容：・日常業務における薬剤師の倫理

講師 高橋洋一氏（東邦大学薬学部・薬学史講座責任者（非常勤講師）横浜薬科大学客員教授）

・ケーススタディー（SGD）

受講者：41名（会員41名/一般0名）

ウ 新任薬剤師研修会

日 時：令和2年7月5日（日）13:00～16:15

会 場：オンライン開催

内 容：・リスクマネジメントについて

講師 石井泰彦氏（石井薬局）

・薬剤師倫理

講師 小橋紀子氏（汐田薬局）

・適正な保険請求（算定要件）について

講師 福嶋仁氏（くすりサガミ薬局）

・法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」

講師 大岡元氏（大岡薬局）

受講者：41名（会員35名/一般6名）

エ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会

日 時：令和2年12月12日（土）15:00～18:00

会 場：オンライン開催

内 容：

(ア) 薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

・保険薬剤師・保険薬局の責務（調剤報酬の請求に当たって）

講師 依田啓司氏（関東信越厚生局神奈川事務所）

・問題のある保険請求について

講師 阿部正隆氏（国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

(イ) 社会から評価される倫理観のある薬局薬剤師になるためには

・地域から評価される薬局を作ろう

講師 塚本久美氏（神奈川県薬剤師会理事）

・社会から評価される倫理観のある薬局・薬剤師になるためには

講師 高橋洋一氏（東邦大学薬学部・薬学史講座責任者（非常勤講師）横浜薬科大学客員教授）

・患者に期待される薬局・薬剤師とは

講師 山口育子氏（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）

受講者：162名（会員147名/一般15名）

⑥ 生涯学習認定制度事業運営・管理



生涯学習認定制度の運営体制（研修カリキュラムへの対応等）を維持・支援するために、研修企画・運営を行う上で必要な企画・運営調整スキル向上を目的として研修会を開催した。

アンケート帳票の作り方と解析研修会

日 時：令和2年9月6日（日）10:10～17:15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・アンケート帳票作成・集計・解析入門

・アンケートデータの検定

講師 志賀保夫氏（株式会社アイスタット代表取締役社長）

受講者：43名



⑦ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的として、神奈川県内の地域・職域薬剤師会等が実施する「研修」にかかる派遣講師の活用を支援した。

今年度はアンガーマネジメントを学ぶ研修について、本会が派遣講師を選定し、地域薬剤師会と共催により開催した。

日程・共催・受講者：

令和2年10月25日（日）：港南区薬剤師会

35名（会員25名/一般10名）

令和3年1月24日（日）：横浜市薬剤師会

40名（会員37名/一般3名）

令和3年1月31日（日）：相模原市薬剤師会

35名（会員29名/一般6名）

会 場：オンライン開催

内 容：薬剤師の医療コミュニケーション力向上のためのアンガーマネジメント活用術

講 師：高橋直子氏（日本アンガーマネジメント協会トレーニングプロフェッショナル/立命館大学薬学部非常勤講師）



⑧ サテライト研修会に関する調査研究

総合薬事保健センターで実施される研修会を、県内の遠隔地に中継するサテライト研修会の実施するにあたり、効果的な方法等を検討・協議したが、新型コロナウイルス感染症の影響により Zoom を使用したオンライン開催が主流となったため、中止した。

認定研修会 受講者数一覧 令和2年度 (令和2年4月～令和3年3月)

No.	研修名	日程		時間	会場	受講者数		
						総数	会員数	非会員
1	第6回TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉(鶴見)【開催中止】	4月17日	金	-	-	-	-	-
2	セルフメディケーション研修会～総論編～ 「くすり与健康相談薬局」相談力向上研修会【開催中止】	4月19日	日	-	-	-	-	-
3	公衆衛生研修会(学校環境衛生編)【開催中止】	5月17日	日	-	-	-	-	-
4	第1回かながわ心臓病薬業連携フォーラム【開催中止】	5月29日	金	-	-	-	-	-
5	公衆衛生研修会(薬物乱用防止編)【開催中止】	5月31日	日	-	-	-	-	-
6	新任薬剤師研修会(厚木)【開催中止】	6月7日	日	-	-	-	-	-
7	第1回倫理研修会 -薬剤師倫理- (川崎)【開催中止】	6月14日	日	-	-	-	-	-
8	第7回TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉(鶴見)【開催中止】	6月19日	金	-	-	-	-	-
9	第2回かながわ心臓病薬業連携フォーラム【開催中止】	11月20日	金	-	-	-	-	-
10	第19回かながわ薬剤師学術大会【開催中止】	1月17日	日	-	-	-	-	-
11	セルフメディケーション研修会～各論編～ 「くすり与健康相談薬局」健康サポート向上研修会 薬局製剤編【開催中止】	2月14日	日	-	-	-	-	-
12	新任薬剤師研修会	7月5日	日	13:00～16:15	オンライン開催	41	35	6
13	公衆衛生研修会①	8月23日	日	14:00～16:25	神奈川県総合薬事保健センター	56	50	6
14	第2回倫理研修会 -薬剤師倫理- (横浜)	8月30日	日	10:00～13:10	オンライン開催	41	41	0
15	認知症対応力向上研修会	9月13日	日	14:00～17:30	神奈川県総合薬事保健センター	61	52	9
16	SDGs研修会	9月27日	日	14:00～17:30	神奈川県総合薬事保健センター	37	34	3
17	セルフメディケーション研修会～各論編～(小田原)	9月27日	日	13:00～17:00	小田原市民会館	32	28	4
18	公衆衛生研修会(学校環境衛生検査技術編)	10月4日	日	14:00～15:40	神奈川県総合薬事保健センター	32	30	2
19	第8回TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉(鶴見)	10月16日	金	19:15～21:00	オンライン開催	38	28	10
20	アンガーマネジメント研修会～基礎編～(港南区)	10月25日	日	14:00～17:35	オンライン開催	35	25	10
21	保険薬剤師のための保険研修会(基礎編)	11月1日	日	11:30～13:00	オンライン開催	88	65	23
22	保険薬剤師のための保険研修会(実践編)	11月1日	日	14:00～17:00	オンライン開催	50	45	5
23	倫理研修会 -薬剤師倫理-	11月15日	日	13:30～16:40	伊勢原シティプラザ	36	36	0
24	褥瘡治療薬サミット in かながわ2021	11月22日	日	13:00～16:20	オンライン開催	57	56	1
25	公衆衛生研修会②	11月29日	日	14:00～16:25	神奈川県総合薬事保健センター	71	65	6
26	漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～	12月6日	日	14:00～17:30	オンライン開催	126	95	31
27	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	12月12日	土	15:00～18:00	オンライン開催	162	147	15
28	第2回薬局薬剤師研修会	12月20日	日	13:00～16:30	オンライン開催	41	40	1
29	新規医薬品情報研修会	1月17日	日	9:30～11:50	オンライン開催	78	76	2
30	アンガーマネジメント研修会～基礎編～(横浜市)	1月24日	日	14:00～17:35	オンライン開催	40	37	3
31	第9回TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉(鶴見)	1月29日	金	19:15～21:00	オンライン開催	34	30	4
32	栄養研修会	1月31日	日	14:00～16:00	オンライン開催	85	83	2
33	アンガーマネジメント研修会～基礎編～(相模原市)	1月31日	日	14:00～17:35	オンライン開催	35	29	6
34	研究倫理研修会	2月3日	水	18:25～20:00	オンライン開催	37	36	1
35	公衆衛生研修会③	2月7日	日	14:00～16:25	オンライン開催	66	64	2
36	第4回神奈川県吸入療法ステップアップセミナー	2月20日	土	19:00～21:00	オンライン開催	48	48	0
37	プレアボイド合同研修会	3月4日	木	19:00～21:00	オンライン開催	96	88	8
合計						1523	1363	160

2021/3/31現在

(2) リスクマネジメント等事業

① 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬局プレアボイド事業は、薬物治療において、薬剤師が患者の安全を守るための重要な立場にあり、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて、事例収集事業を実施した。

(第6回薬局プレアボイド報告キャンペーンの実施)

期 間：令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

報告数：234件

② プレアボイド合同研修会

共 催：公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

日 時：令和3年3月4日(木) 19:00～21:00

会 場：オンライン開催

内 容：・2019年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演
・2019年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

受講者：96名(会員88名/一般8名)

③ 薬局プレアボイド事例集の作製

薬局プレアボイド報告キャンペーンの開催等、プレアボイド報告推進に取り組んできたが、これまでに集まった優秀事例をまとめた「薬局プレアボイド事例集」を作製し、会員へ配付した。



④ プレアボイド Web 報告システムの構築

薬局プレアボイド報告の簡略化、収集事例の分析解析を目的に Salesforce を活用した Web 報告システムを構築した。

⑤ 2020 県下統一調剤事故防止研修会

開催団体：地域薬剤師会 30 団体

開催時期：令和2年11月～令和3年3月

対 象：会員、地域薬剤師会会員

内 容：・高齢者転倒防止リーフレットについて
・薬局プレアボイド報告について
・薬局プレアボイド事例集について
・高齢者におけるポリファーマシー対策－服用薬剤調整支援料で患者を守る－
・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

受講者：916名

⑥ リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を開催し、情報交

換等を行った。

(第1回) 日 時：令和2年6月18日(木)

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(第2回) 日 時：令和2年9月10日(木) 19:30～21:00

会 場：Web 会議

内 容：・高齢者転倒防止リーフレットについて

講師 金泰烈氏(リスクマネジメント委員会委員)

・薬局プレアボイド報告について

講師 三堀賢太郎氏(リスクマネジメント委員会委員)

・薬局プレアボイド事例集について

講師 露木聡史氏(リスクマネジメント委員会委員)

・高齢者におけるポリファーマシー対策～服用薬剤調整支援料で患者を守る～

講師 今井博久氏

(東京大学大学院医学系研究科地域医療システム学講座教授)

⑦ SDGs 研修会の開催



リスクマネジメントの本質は、社内・社外の環境変化を捉え、自社の目標を達成するための機会や損失発生の可能性を把握し、必要な対策を講じることである。今後、学校教育にまでも SDGs が取り込まれていく中で、SDGs の視点でリスクマネジメントを考え、社会変化を適切に捉え、時代に即した形で変化し、経営戦略に反映させていくことが、今後の薬剤師として、企業経営者として必要であると考え、研修会を開催した。

日 時：令和2年9月27日(日) 14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・SDGs 体験プログラム「カードゲーム 2030SDGs」

・企業と SDGs の関わり方～リスクマネジメントの視点～

講師 大川哲郎氏(株)大川印刷 代表取締役社長)

受講者：37名(会員34名/一般3名)

SDGs とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省ホームページ JAPAN SDGs Action Platform SDGs とは?)

(3) 広報事業

① 広報推進事業

ア 広報出版委員会の開催（6/3、8/5、9/30、11/25、1/27、3/31）

イ 県民向けPR媒体の検討



薬局・薬剤師の機能・職能を一般県民に広くPRするために、有効なメディアを検討した。

② 広報誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に寄与するため、広報誌「薬壺」を発行し、薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省・神奈川県 の動向、日本薬剤師会等からの通知、薬業界の話題等を掲載した。

- ・会誌発行：『薬壺』6回発行（隔月奇数月）
- ・会誌配付先：会員、各都道府県薬剤師会、保健センター、薬科大学、新聞社 他
- ・掲載内容等：

発行月号	頁数	広報出版委員会企画記事
5・6	81	① 新型コロナウイルス感染症について ② 神奈川県薬剤師会 創立130周年記念 「次世代の薬局・薬剤師について語り合う会」
7・8	53	① 文章表現論（第1回） ② 港中学校における、実務実習生による薬物乱用防止の授業（第1回）
9・10	83	① 緊急避妊薬の分類を「処方箋医薬品以外の医薬品へ！」 ② 文章表現論（第2回） ③ 港中学校における、実務実習生による薬物乱用防止の授業（第2回） ④ 救急災害対応型フォーミュラリー（第1回） ⑤ 服薬フォローアップ強化に向けた取り組みについて（第1回） ⑥ 新薬紹介
11・12	83	① 文章表現論（第3回） ② 港中学校における、実務実習生による薬物乱用防止の授業（最終回） ③ 救急災害対応型フォーミュラリー（第2回） ④ 服薬フォローアップ強化に向けた取り組みについて（第2回） ⑤ 書評「医薬分業の光と影」 ⑥ 新薬紹介

1・2	107	<ul style="list-style-type: none"> ① 神奈川モデル 高度医療機関における COVID-19感染症への対応 ② 神奈川モデル 重点医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応 ③ 水環境中に放出される医薬品類 ④ これはフォーミュラリーですか？ ⑤ 薬害関連収集検討事業 薬害の歴史について MMR ワクチン事件 ⑥ 文章表現論 (第4回) ⑦ 学校薬剤師の現場から おくすりの適正使用、薬物乱用防止の授業 各地域独自の 学校薬剤師による薬物乱用防止教室 ⑧ 救急災害対応型フォーミュラリー (第3回) ⑨ 服薬フォローアップ強化に向けた取り組みについて (最終回) ⑩ 第53回日本薬剤師会学術大会報告 ⑪ 新薬紹介
3・4	63	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校薬剤師の現場から 認定こども園における学校環境検査 相模原市薬剤師会の取り組み ② 文章表現論 (第5回) ③ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会を受講して ④ 石井理美監事を偲んで ⑤ 新薬紹介

③ ホームページ運営事業

ホームページの会員ページにおいて、会議報告、会員への通知・ツール等のダウンロード及び学校薬剤師の業務関係ファイル等を公開して会員の利便性に資する活動を行った。また、会員ページ並びに一般ページでは、新型コロナウイルス感染症に関するページを新たに作成し、厚生労働省や神奈川県からの関連情報、地域保健委員会や公衆衛生・学薬委員会からの情報提供を受け、それらを会員や一般県民向け情報として発信した。

④ メールマガジン発信事業

新型コロナウイルス感染症関連情報、研修会案内等、今年度は52件の情報を配信した。主な内容は次のとおり。

4月13日号 新型コロナウイルスの感染拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて

5月7日号 神奈川県薬剤師会 研修会のご案内

8月12日号 薬局感染拡大防止対策事業費補助について

11月26日号 「第19回かながわ薬剤師学会」開催について

2月16日号 医療従事者等向け新型コロナウイルスワクチンの優先接種について

(4) 会員に向けた各種支援

- ① 薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇登録業、高度管理医療機器販売業等の更新申請書を送付した。(令和2年4月～令和3年3月、200店舗・273件)
- ② 日本薬剤師賠償責任保険(個人情報漏えい保険)、日本薬剤師会薬剤師年金、アンチ・ドーピング活動保険の加入希望者にパンフレットを送付した。
- ③ 薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う、日薬からの会員登録確認に対応した。
- ④ 麻薬取扱者免許の継続申請及び令和元年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1,831件(令和2年9月)
- ⑤ 薬剤師の就労確保対策



新型コロナウイルス感染症の影響により、ワーキンググループの設置及び検討会の実施が困難となったため、令和3年度に持ち越しとした。

IV 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会等9団体（4階）、ヴェオリア・ジェネッツ㈱（1・5階）、㈱矢野建築設計事務所（3階305号室）に引き続き事務室を賃貸した。

なお、令和2年4月より賃貸料を変更（金額の引き上げ）した。

また、会議室利用状況は合計704件であり、前年度1289件と比べて減少した。

〈別表2〉

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙等の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：103件（1680冊）
- ・用紙等販売：221件（令和2年4月～令和3年3月） 〈別表3〉

別表2

令和2年4月～令和3年3月会議室利用状況

月	部屋	ホール		301号室		302号室		303号室		304号室		306号室		307号室		合計				前年度					
		午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	①計	②可能回数※	利用率①/②	計	利用率			
4月	外部	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	588	0%	53	9%
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	588	0%	49	8%
5月	外部	1	0	0	1	1	0	2	5	3	13	0	0	0	0	0	0	1	0	1	18	525	3%	37	7%
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	6	525	1%	64	12%
6月	外部	3	2	3	8	0	4	0	4	0	0	2	1	5	2	5	0	7	0	0	29	630	5%	32	5%
	内部	0	1	2	3	0	0	1	0	0	0	1	2	3	0	1	2	0	1	1	13	630	2%	134	21%
7月	外部	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	7	630	1%	74	12%
	内部	1	3	4	8	0	0	0	1	0	1	3	6	15	2	8	7	17	0	0	59	630	9%	94	15%
8月	外部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5	0	5	0	1	10	651	2%	34	5%
	内部	2	1	2	5	0	0	0	0	2	3	2	7	2	2	2	6	0	1	2	28	651	4%	91	14%
9月	外部	1	0	1	2	1	8	0	9	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	3	20	630	3%	25	4%
	内部	2	2	1	5	2	1	0	3	1	0	2	5	3	10	2	4	6	0	2	41	630	7%	101	16%
10月	外部	5	5	2	12	0	8	1	9	0	0	0	1	1	0	0	2	1	3	0	27	651	4%	59	9%
	内部	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	4	2	8	2	4	2	0	3	24	651	4%	52	8%
11月	外部	7	7	2	16	1	8	1	10	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	3	35	630	6%	49	8%
	内部	4	6	5	15	3	2	1	6	2	4	1	7	2	4	10	6	5	8	19	86	630	14%	55	9%
12月	外部	4	3	3	10	0	9	1	10	0	1	2	0	0	0	0	1	2	1	4	29	567	5%	36	6%
	内部	2	3	3	8	0	0	1	1	0	0	2	2	3	4	4	11	3	4	1	41	567	7%	55	10%
1月	外部	13	12	3	28	1	10	1	12	2	1	0	3	2	2	0	4	1	2	0	57	546	10%	62	11%
	内部	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	3	2	5	2	9	0	3	4	7	35	546	6%	18	3%
2月	外部	8	8	0	16	3	10	1	14	0	0	0	1	1	0	2	1	4	0	1	40	609	7%	44	7%
	内部	0	1	1	2	0	0	0	0	0	3	0	3	1	2	3	6	1	2	4	26	609	4%	48	8%
3月	外部	2	4	0	6	0	7	1	8	0	0	0	4	5	3	12	4	5	3	15	54	651	8%	19	3%
	内部	1	1	0	2	0	0	0	1	3	0	4	2	2	1	5	2	2	1	8	17	651	3%	4	1%
合計	外部	45	41	14	100	8	68	7	83	7	8	4	19	10	12	6	28	7	29	10	328	7,308	5%	524	7%
	内部	12	18	19	49	5	3	5	13	5	14	3	22	19	37	31	87	19	30	69	376	7,308	5%	765	11%

(利用率は、小数点以下四捨五入)

内部は県薬剤師会の利用分です。

※利用可能回数：1日3回(午前・午後・夜間)×7室×その月の日数(年末年始、メンテナンス等を除く)

令和2年4月～令和3年4月 用紙等販売・斡旋書籍販売実績

別表3

月	用紙										斡旋書籍													
	現金					発送					合計					合計								
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	送料	計	件数	金額	送料	計	件数	冊数	金額	送料	計	件数	冊数	金額	送料	計	斡旋手数料	
4月	3	11,880	19	54,040	8,900	62,940	8,900	74,820	22	65,920	8,900	74,820	10	19	98,460	7,370	105,830	3,457						
5月	4	7,630	8	47,080	4,780	51,860	4,780	59,490	12	54,710	4,780	59,490	0	0	0	0	0	0	0					
6月	2	4,400	20	85,280	9,910	95,190	9,910	99,590	22	89,680	9,910	99,590	3	12	31,350	550	31,900	2,640						
7月	4	15,180	5	11,660	2,250	13,910	2,250	29,090	9	26,840	2,250	29,090	6	97	356,760	0	356,760	21,340						
8月	4	5,720	7	23,200	3,490	26,690	3,490	32,410	11	28,920	3,490	32,410	7	214	592,300	550	592,850	47,080						
9月	3	7,040	17	71,820	8,560	80,380	8,560	83,410	20	74,850	8,560	83,410	6	20	138,100	3,050	141,150	4,950						
10月	8	6,490	19	75,770	10,250	86,020	10,250	92,510	27	82,260	10,250	92,510	1	15	77,550	0	77,550	3,300						
11月	3	8,580	22	68,090	10,370	78,460	10,370	87,040	25	76,670	10,370	87,040	2	2	30,300	1,400	31,700	660						
12月	3	2,860	13	78,650	7,650	86,300	7,650	89,160	16	81,510	7,650	89,160	1	20	5,500	0	5,500	0						
1月	4	6,410	19	63,340	9,430	72,770	9,430	79,180	23	69,750	9,430	79,180	0	0	0	0	0	0	0					
2月	3	7,920	10	23,430	4,500	27,930	4,500	35,850	13	31,350	4,500	35,850	3	52	40,442	660	41,102	13,367						
3月	8	4,400	13	49,280	7,090	56,370	7,090	81,340	21	74,250	7,090	81,340	64	1,229	4,647,018	18,920	4,665,938	265,412						
合計	49	88,510	172	651,640	87,180	738,820	87,180	843,890	221	756,710	87,180	843,890	103	1,680	6,017,780	32,500	6,050,280	362,206						

その他

神奈川県薬剤師研修協議会事業（神奈川県薬剤師研修協議会）

公益財団法人日本薬剤師研修センターから委託された研修認定薬剤師制度の認定事務の一部を行った。令和2年4月～令和3年3月の実績は次のとおり。

① 認定薬剤師申請業務

受付件数：3,210件

申請件数：2,781件

② 認定薬剤師認定証発送業務

受付件数：3,224件（内訳：新規1,204件、更新2,020件）

発送件数：3,224件（内訳：上記に同じ）

地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼に基づき、一般社団法人日本医療薬学会が行っている「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」について、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）の調整を図るマッチング業務を受託し行った。

① 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

委員 橋本真也、竹内尚子、縄田修一

実施方法 Eメールによる書面会議

② マッチング結果

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	11名	2名	9名
2. 受入れ状況	4施設6名	1施設2名	3施設4名
3. マッチング成立者	6名	2名	4名
4. 同 不成立者	5名	0名	5名

参考資料

令和2年度 公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

令和2年度は、改正薬機法等の施行を待つ年となる。それに伴う省令や施行規則など様々な薬事関連制度の見直しも必至と思われることから、我が国の薬事において歴史上に残る1年になると考える。

また、令和2年度は調剤報酬の改定年度でもあり厳しい状況下ではあるが、薬剤師として、受動的にならず何事も能動的に活躍していかなければならない

そうした中、本会の事業運営も130年の歴史を持つ中で先駆的に活動して来たが、こうした転換点を踏まえ薬事令和新時代に相応しい事業展開を図らなければならない。

これまで、国民皆保険のもと「県民が、いつでも、どこでも、誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」という基本原則に基づいて医療体制が整備されてきた。薬局・薬剤師もそうした環境下で職能を発揮し医療体制の一翼を担ってきている。

そして、薬剤師の職能を整えるために生涯学習活動を充実させ「神奈川県薬剤師会生涯学習履修認定薬剤師」の育成を図っていかなければならない。その職能を発揮する場の一つとして、県民の健康維持に向けた「くすりと健康相談薬局」がある。そしてそれについても充実強化し体制を整備していく必要性が認められる。

これらの本会における2大事業を進めるには、それを支え担保する様々な事業があり、それらの基礎基盤上に立脚するものであることから基礎的な事業の充実を図り実践していく必要がある。

そこで、本会の各事業の不断の見直しにより、令和新時代に希求される薬剤師会として必要な事業を推進していくために経営資源を有効活用することとする。

また、薬局制度に新たな制度が発足することから、それらに対応するために会員薬局を支援していく必要がある。

さらには、情報技術の目覚ましい発達がありAI技術と相俟って様々なことが可能になってきていることから、本会でのICTを活用した業務運営の検討や実施を行うこととする。

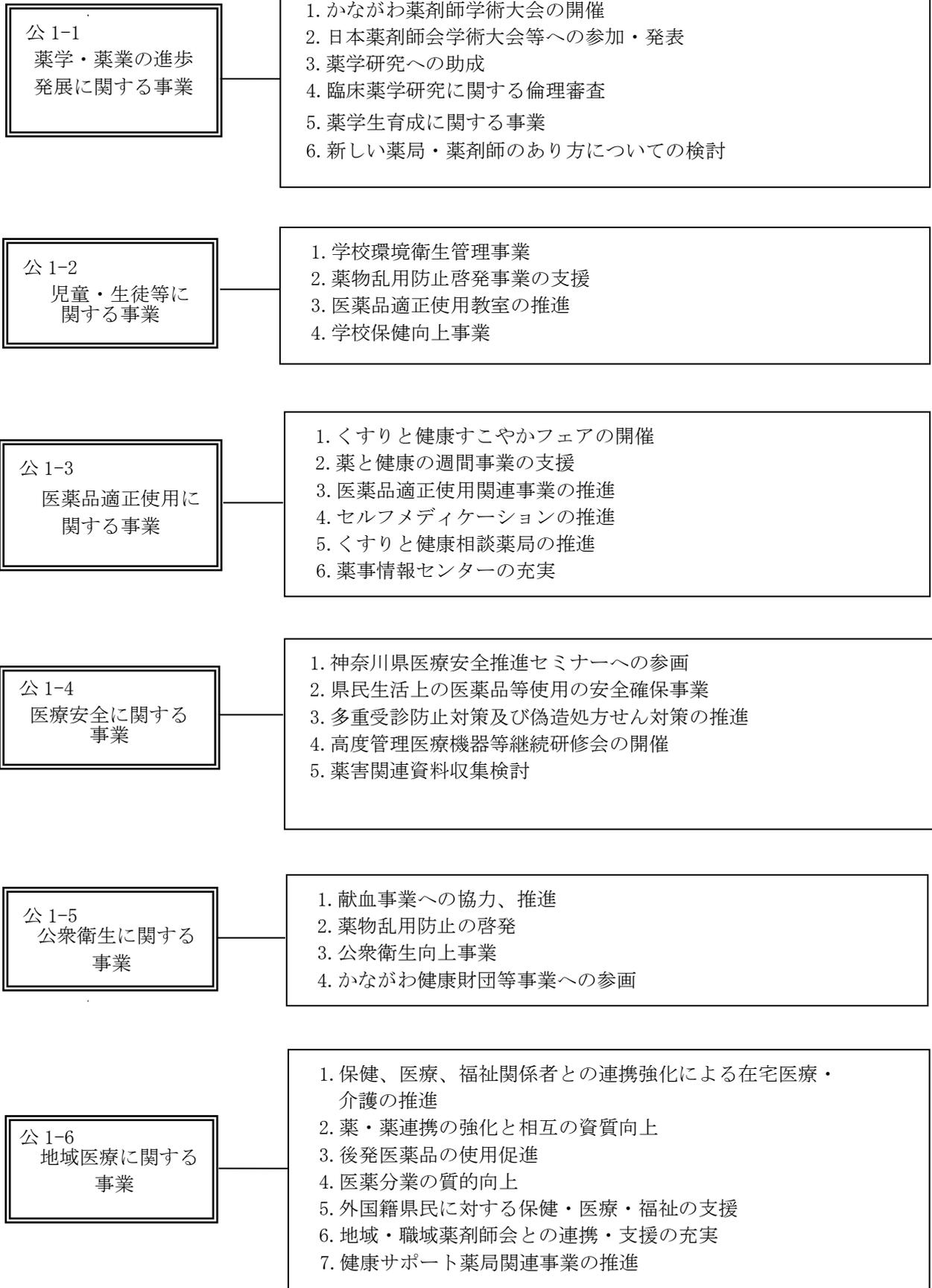
そして、公益社団法人としての認定を受けたことは、「くすり」を仲立ちとして県民の健康増進に資することを約束したのもでもあると言える事から、それを果たすために事業強化を図り推進することとする。

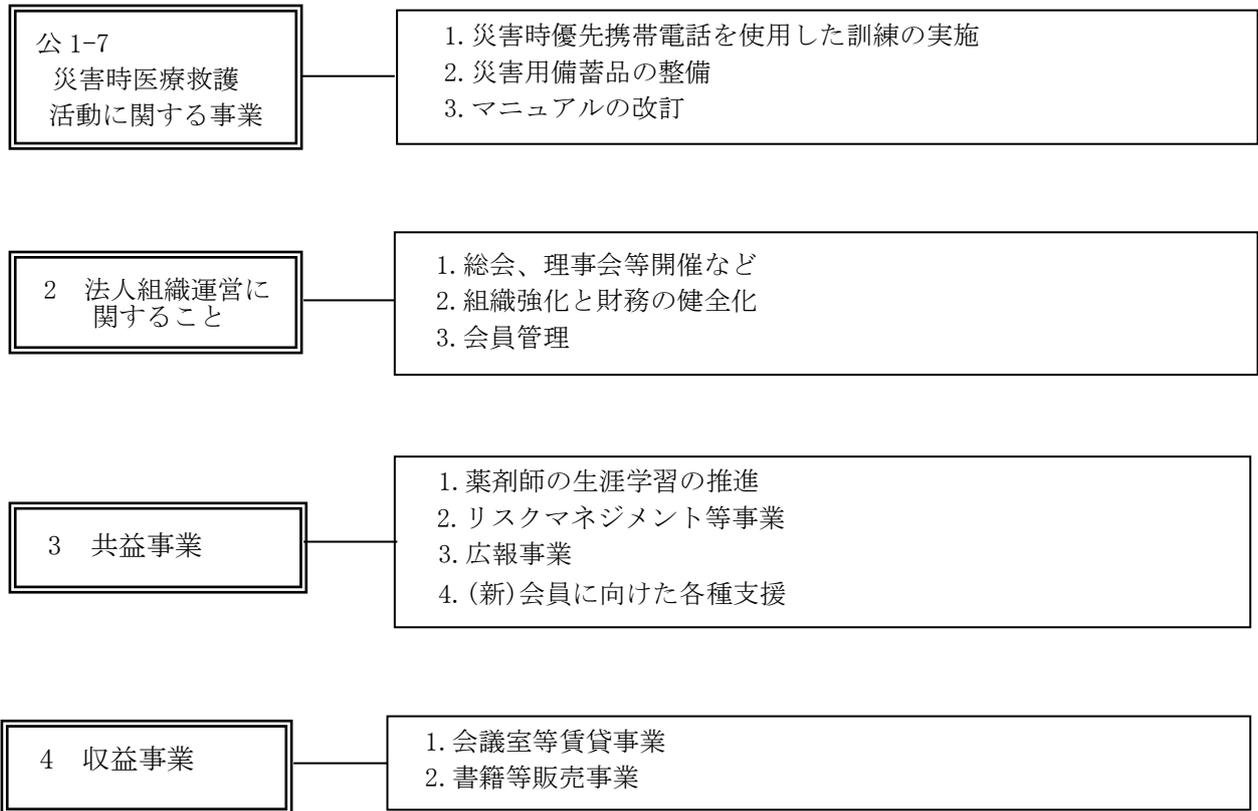
令和2年度は、こうした取組で本会は、会員とともに地域医療の担い手としての役割を着実に進めるため、円滑な事業運営を図りその実績を挙げて行くこととする。

令和2年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉





令和2年度 神奈川県薬剤師会 各種委員会委員一覧

令和3年3月31日現在

名称	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委員 (◎委員長 ○副委員長)	担当課
1 総務	後藤 知良	長津 雅則 寺師三千彦	嶋 元悟 塚本 紀久恵	前田 成隆 菅野 宏一 荒澤 実 馬瀬 大介 ○市川 浩 ◎小宮 賢一 白井 博 熊井 佳子	管理課
2 広報出版	小川 護	伊藤 啓 唐澤 淳子	石渡 宏衛 久美一 伊藤	吉川 武寿 ○飯田 京子 菅野 浩 福岡 真 小高 賢一 ◎関根 澄江 高橋 洋一 白井 友章 森嶋まつ子	管理課
3 生涯学習	小川 護	竹内 尚子	阿部 正隆 久保田 充明 夏目 善文	◎三澤 喜彦 鈴木 良雄 三溝 和男 杉崎 薫 ○笹谷 康子 柿沼 貞之 吉山 友二 友田 健 黒岩 美枝 山村 重雄 馬淵 彰三 小泉 直也 金 龍哲	事業課
4 医療・介護保険	小川 護	長津 雅則 竹内 尚子 佐藤 克哉	阿部 正隆 夏目 善文 稲葉 健二郎	◎藤本 直樹 ○福嶋 仁 三浦 健太 小林 弘忠 梶谷 赤澤 美由紀 小林 千淳 浩義 由紀 大ぬ子 ◎川村 幸久 大岡 元俊 亀山 河野 一規 野田 和多 松崎 裕子	事業課
5 公衆衛生・学薬	小川 護	唐澤 淳子	山形 光正 石渡 宏衛 伊藤	濱地 優作 水野 秀典 大澤 佳奈子 ○油谷 由美 ◎神原 大輔 渡邊 千括 八木 洋子 小泉 貴之 金子 弘之 ○和田 野歩 関根 寿樹 金丸 茂樹	事業課
6 地域保健	後藤 知良	佐藤 克哉 長津 雅則 唐澤 淳子	坂本 悟 夏目 善文 塚本 久美	田中 大嗣 鷺山 毅 和子 ○林 直子 ◎大島 崇弘 植島 学 ○堀川 壽代 鈴木 大介 劍持 明子	事業課
7 リスク マネジメント	橋本 真也	伊藤 啓 佐藤 克哉	嶋 元悟 菅野 君子 稲葉 健二郎	佐伯 達也 森井 広樹 小川 亮子 八木 芳夫 ◎石井 泰彦 新田 淳史 三堀 賢太郎 原 和夫 星野 高志 ◎村上 和宣 太田 美智子 金 泰烈 篠田 豪 露木 聡史 小島 昌徳 荒井 俊明	事業課
8 倫理研修	橋本 真也	竹内 尚子	山形 光正 高橋 良二 菅野 君子 久保田 充明	斉藤 美月 安藤 典幸 ○綾部由紀乃 ◎小橋 紀子	事業課
9 学術大会実行	後藤 知良	寺師三千彦 竹内 尚子	井上 雄一 篠塚 達雄 石渡 宏衛	○野村 清司 鈴木 康生 竹内 均 寺仙 智子 塩田 修司 飯倉 裕之 ◎中村 正樹 齋藤 邦夫	事業課
10 実務実習	橋本 真也	寺師三千彦	井上 雄一 久保田 充明 篠塚 達雄	○永持 健 河野 和宏 上田 知弘 日下部 吉男 石川 弓子 石黒 哲夫 駒井 元彦 難波 昭雄 矢野 裕一 大久保 敦子 廣原 正宜 婦川 貴博 ◎木村久美子 ○片山 周也 栗原 順一 須田 哲史	事業課
11 くすりと健康相談 薬局運営協議会	後藤 知良 小川 護 橋本 真也	長津 雅則 全常務理事	塚本 久美	○黒澤 淑子 高橋 洋一 ◎福島 紀子 天野 宏 今井 澄江	事業課 管理課
12 災害対策検討	橋本 真也	寺師三千彦 長津 雅則	◎高橋 良二 泉 紀久恵 篠塚 達雄	石井 哲人 石川 弓子 岡田 恒雄 藤原 文子 ○菅野 宏一 山崎 真弘 大木 昭子 佐藤 裕子 田村 英樹 越田 良仁 金林 茂 劍持 明子	事業課
13 代議員選挙管理	後藤 知良	長津 雅則 唐澤 淳子		吉原 陸子 岡野 克樹 ◎井上 哲男 鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一 ○越田 良仁 小林きぬ子 阿武野晴美 山田 修 石内 正佳	管理課
14 総会議事運営	後藤 知良	長津 雅則 唐澤 淳子		笹谷 康子 澤田 弘之 渡邊 幸一 石井 橋 矢野 幸一 泰彦 津義 光恭 二宮 三嘉 鈴木 大介 種島 学 ◎八鉦 広幸 ○今井 和成	管理課
15 役員選挙管理	後藤 知良	長津 雅則 唐澤 淳子		石川 弓子 岡野 克樹 井上 哲男 鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一 ◎越田 良仁 小林きぬ子 清水 直 山田 修 ○今井 和成	管理課
16 新しい薬局・薬剤師の あり方検討WG	後藤 知良	◎佐藤 克哉	久保田 充明 ○塚本 久美	玉田 慎二 秋葉 保次	事業課 管理課
17 倫理審査会				◎上村 直樹 小松 順子 清川 秀人 ○佐橋 幸子 大澤 正俊 竹内 尚子 武藤 一久 高橋 良二 今井 澄江	管理課

敬称略

